京城日報

十三日夕刊

定價 一部金[illegible] 一ヶ月金五十五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城大平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

◎英外相の米國訪問

華盛頓著公報に據れば英國外相バルフォア氏は特別使命を帯び米國を訪問せり(桑港電報)

◎米國と合同策戰協議

近く協商側と米國代表者との會議開催され合同策戰の協議ある可し(桑港電報)

◎露國新政府貧民救濟

新政府は貧民救濟の急務なるを認め四月より六箇月の間國庫より五千二百萬留を支出する事となれり(哈爾賓特電)

◎露兵士監獄を警備す
囚人の暴動を防ぐ爲め

キエフ執行委員會は監獄に於ける國事犯人を放免したるが其他の囚人の暴動を防ぐ爲め兵士を以て厳重に内外を警備しつゝありオデッサ監獄の如く大暴動を起さんかと憂慮し居れり(哈爾賓特電)

◎露都食糧品大暴騰

露都米電＝露都に於ける食糧品は日々著しく暴騰しつゝあり在住民の困憊一方ならずと(哈爾賓特電)

◎商品陳列館

哈爾賓に日露商品陳列館の必要を感じ滿鐵は其經費二十萬圓を支出する事となれり此要件を帯びて森氏東京に出張中なれば近く實現を見るに至る可し(長春特電)

◎兩黨公認打止

政友會公認候補は百九十四名を以て憲政會公認候補は二百五名を以て何れも打止とせり(東京電報)

◎日郵重役紛糾

日本郵船重役改選に關し又復紛糾しつゝあり目下の形勢より推さば重役增員の件も容易に決せざる模様也(東京電報)

◎駐伊大使後任

本邦駐箚伊太利大使クツキ、ボアツ氏先般歸國せるが逗回侯爵クザニ氏其の後任に決定せる旨其筋に公報ありたり(東京特電)

◎後藤内相講演

後藤内相は十三日朝來阪、郡、市長に對して自治に關する講演を爲し同夜歸東せり(大阪特電)

◎藏相大阪視察

勝田藏相は十三日朝來阪造幣局を視察し十四日は銀行家の招待會に臨み關西銀行家大會の歡迎會にて講演を爲し夜十一時卅分大阪發歸東の筈(大阪特電)

◎總督鎭南浦著

平壤の巡視を了へたる長谷川總督は宇佐美内務部長官、古海警務總長を帯同し高橋武官、大島副官等を隨へ十三日午前十時三十分鎭南浦驛に到着、各官公衙團體、銀行會社團體、在郷軍人、消防組、各學校生徒、民間有志者等數千名堵列の中を莞爾として會釋しつゝ自動車にて通過直に旅館に向へるが市中は各戸共國旗を掲揚して敬意を表し、工藤平南道長官及び澁谷警務部長は東道の意味にて鎭南浦まで隨行せり(鎭南浦)

▲總督は海州へ 長谷川總督一行は十三日午前九時半平壤發臨時列車にて鎭南浦に赴き府廳、築港狀況、久原精錬所其他を視察の上午後四時三十分同地發臨時列車に搭乘六時平壤に歸還、十四日朝平壤發沙里院を經て海州に向ふ可し

◎鑛業登錄税額

三月中の鑛業登錄件數は申請二百四十四件、不受理七十九件、受理百七十四件にして此の登錄税額一萬三百四十二圓餘を算せるも二月中に比すれば約三千三百圓の減差あり尙ほ本年一月以降の登錄税累計額は三萬二千百四十八圓を示し居れり

◎面費出入決算

大正四年度に於ける面經費の決算を聞くに各道を合し歳入總計二、九六一、一七四圓、歳出總計二、六七四、六八三圓にして歳出入を差し引き二八六、四九一圓の殘額を見たり

◎面洞里の財産
一ヶ年の收入額

大正五年三月末現在に依る所内面並に洞里有財産及び之れが收入額を見るに各道を通じ

▲面有諸財産 面に在りては畓百二十三町三反餘畝歩、田三百八十町三畝歩、垈四百十七町八反餘畝歩、林野一萬六千百九十二町八反餘畝歩、建物四萬六千二百五十坪、現金四萬五千八百二十五圓、銀行株券拂込額八千四百三十圓、米麥雜穀其他を所有し之れに依る一箇年間の收入額合計二萬六千百八圓にして大正四年に比し一萬二千三百餘圓同三年に比し一萬三百餘圓の增收を示せり

▲洞里有財産 又た洞里有の財産は畓一千百町三反餘畝歩、田二千八百二十一町一反餘畝歩、垈六百六町八反餘畝歩、林野十萬五千四百四十五町五反餘畝歩、建物五萬七千六百九十三坪、現金十五萬七千二百十九圓、米麥雜穀若干其の他にして之に依る收入額合計十萬五千七百十一圓を算し大正四年に比すれば一萬四千八百餘圓、大正三年に比すれば一萬三千七百餘圓の何れも增收なりとす

◎鮮鐵停滯貨物一掃期
東淸及滿鐵奥地發送制限
安藤鐵道局參事談

昨冬來海運賃の引上と船腹の不足の爲め貨物は鐵道に集まり各驛共未曾有の出貨を見るに至り鮮鐵にては臨時列車を增發し之が輸送に努め居ることは時々報道したる所なり然るに連帶

▲貨物の輸送力 には限あるに貨物は限なく續々と出で各驛の停貨は今日に至るも未だ一掃せらるゝに至らず氣候温暖となり時々降雨あり倉庫なき地にて野積せる大豆雜穀の損傷甚しく荷主の苦痛大なるのみならず朝鮮經濟界に採りて由々しき大事なるを以て何とかして滯貨一掃せんと腐心せる矢先きに豆粕の需要期に入り東淸鐵道滿鐵線奥地及び安東より鮮鐵經由内地に向ふ豆粕出廻りの世に放任すれば釜山より先き關釜聯絡船の貨物輸送力の全部を豆粕に占領せられ鮮内

▲各地の停貨 は殆と輸送すること能はざるに至る於是朝鮮鐵道は十二日より東淸線及び滿洲奥地發内地行貨物を一日安東發内地行貨物を一日六車に制限し其他の餘力を以て朝鮮内各地の停貨輸送に充つることとし其旨通知を發せり而して鐵道連帶に依る輸移出貨物の引受數量は釜山より先きの鐵道院の輸送力に制限さるゝ關釜間には晝夜二回の定期船の外に臨時貨物船として御嶽丸(千噸)を餘船し一箇月八往復の運航を採せり右定期船及び臨時船を除き一日輸送力は釜山地發を除き

本州行 四百七十噸
九州行 二百噸

に過ぎず而して本月十一日の停滯貨物は

	本州行	九州行
鮮鐵各驛	九、一六六噸	二、〇三一噸
安東驛	四、八五〇	七、三三六
輸送中のもの	九二六	五五二
釜山棧橋にあるもの	二、九一二	二、七八八
合計	一七、八五四	一二、七〇七

右連絡船輸送力より東淸、滿鐵奥地よりの四車百〇八噸安東よりの六車百四十四噸の半數づゝを本州行九州行に充て

▲釜山棧橋 にあるもの及び輸送中のものに對し本州行一三四噸九州行三二噸を充つれば鮮鐵各驛より發送し得るもの本州行十車二一〇噸九州行二車四二噸となるを以て右滯貨中本州行は五月末九州行は六月末に至れば一掃することを得然れども連絡船は風波の爲め缺航し又は荷役少きなぞは免れざるにより停貨一掃は右期日より多少遲るることあるやも計り難きにより此點は豫め承知置かれたし各驛の停貨は驛へ申込順序により最も早き去年十二月の發貨より漸次輸送することとするも貨車配給の都合により多少前後することあるも止を得ざることなり右の結果今後

▲申込の貨物 に對しては本州行は六月以後九州行は七月以後に至らざれば發送すること能はざるに由り之を承知して申込まれたし以上は内地連帶貨物に就て述べたるが鮮滿連絡及び朝鮮内の發著貨物に就ては遺憾なく輸送に當り日々四五千噸の運搬を爲し居れり

◎定例長官會議

十三日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官局長、所屬官署の長等參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

◎船舶職員試驗

臨時船舶職員試驗執行の件は十四日附告示を以て發布のことゝなれり試驗期日は大正六年四月二十日及び廿一日にして二十日は總督府遞信局仁川海事出張所に於て執行し一日は同鎭南浦海事出張所に於て擧行す。試驗の種類は甲種一等運轉士、甲種二等運轉士、乙種船長、乙種一等運轉士、乙種二等運轉士、湖川港乙種二等運轉士、丙種運轉士、小型船運轉士、一等機關士、二等機關士、三等機關士、發動機船二等機關士、三等機關士、湖川港三等機關士、發動機船三等機關士なり

◎辭令

十日附を以て左の通り辭令ありたり

李王職事務官 金東完
庶務課勤務を命ず
同 趙東源
會計課兼務を命ず

◎醫師試驗委員

十二日附を以て醫師試驗委員を如左任命せり

總督府醫院醫官 植村俊二
同 醫官 金杉榮藏
醫師試驗委員を命ず

◎警察署長等更迭

四月六日附發令警察署長等に左の如く更迭あり

昌浦署長(高敞署警部) 石崎樹次郎
義州署長(昌浦署同) 松永房七
高敞署長(鎭安署同) 須藤長平
鎭安署長(高城署同) 笠間參男
慶州署長(三千浦署同) 並猪之助
三千浦署長(慶山署同) 平山利治
慶山署長(慶北部同) 入佐宗計佐
慶北部詰(慶州署同) 高杉儀藏
全南部詰(靈光署同) 後藤政彦
靈光署長(全南部同) 岩井要作
平壤署詰(新任) 山田二一

◎屠獸場作業開始期

府内四箇所の屠獸場を統一して峴底洞に設備する設備工事は京城府土木係にて目下著々進捗しつゝありしが十三日總督部衛生課の檢査を受けたるを以て愈々來る十六日より其の作業を開始すべしと

◎寄附締切延期

聯合國傷病兵罹災者慰問會に對する寄附金締切期日は三月末日なりしも今回之を五月十五日迄に延期することとなれり從つて有志者は該期日迄に從來の手續きに依り寄附を申出づるも差支へなし

◎巡査補入所式

京畿道警務部にては今回試驗の上巡査補四十六名選拔せるが愈々十二日午前十時入所式を行ひたり而して右巡査補の教育は警官練習所に委託することゝなれり

◎青葉會春季總會

在京宮城縣人を以て組織せる青葉會は十四日午後六時より松翠樓に於て春季總會を開き會長小原長官の支那視察談ある由

◎久原の滿洲發展

久原鑛業會社は今度滿洲に一大發展を爲す可く一大精錬工場を奉天に設立し南北滿洲及び北滿地方一帶に於ける鑛物精錬に從事する大計畫を立て前奉天總領事及び外務省政務局長にして現在該社員たる小池張造氏は之れが監督者として來奉し一切を指麾する筈なりと云へば其規模の雄大なるを推知す可く已に該社鎭南浦精錬所々長小瀧氏は二三日前之れに關し奉天及び撫順の調査を終へて歸鮮し該計畫は著々進行中なり(奉天)

◎羅南兵營工事

大正六年度著手さるべき羅南軍營工事にして既に決定を見たるは練兵場に建設さるべき兵舍十棟及び騎、砲兩聯隊の馬糧庫建築等の兵營模様替工事なるが概算十四五萬圓なり其他確定を見たるに非らざるも官舍煉瓦廓工事もあるべき模様なれば以上の十五萬圓を超過するに至るべしと(淸津)

◎朝郵の日本海航路企劃
當期の成績去年より大分好い
原田朝郵社長の談

東上中なりし朝鮮郵船會社長會議所會頭原田金之祐氏は十二日夜歸京せり其の車中談に曰く、大正五年度下半期に於ける

▲朝郵の決算案 は大體に於て出來上つてゐる、十四日に重役會議を開いて株主總會召集の日取りを決定する筈だが多分總會は二十八日となるであらう、當期の成績は之れを昨年中に比し當初の豫想では頗る良好の筈であつたが何分石炭其他の消耗品が稀有の暴騰をなし加ふるに船舶修繕費の嵩むあり乃ち收益は時局の間接影響を受けて増大したけれど前途の經費膨脹の喰ひ込み多かりし爲め思つた程でない、但し前年同期に比し若干良好なる事は明らかである、唯收益がよくても直ちに之れを以て增配の擧に出づる事は愼まねばなるまい、社の積立を增加し基礎の愈々牽固を期せねばならぬと思つてゐる、全羅丸の坐礁沈没は甚だ遺憾であつた、其の代船は切りに京阪に於て需めたが怎うも格好の船がない、有つても非常に高く算盤が持てぬ會社の

▲北支那航路 の如き目下船繰の都合上休航してゐるから早く一變をチャーターしたいと考へてゐるが更に明年七月頃になつて清會線全通するとなれば會社は裏日本で北朝鮮間に定期の發著航路を開航したいと云ふ希望を有つてゐるから其の端緒として清會線全通前に臨時的の日本海航路を運航させたいと考へ、此方も傭船を詮議してゐる、元來日本海橫斷航路は多年の懸案で敦賀の有志北鮮の實業家からも會社は一再ならず開航希望の交渉を受けてゐるのであるが、果して如何程の船で月に何回航海し何のやうな經營となるのか缺損は覺悟の上でも問題だ然し甚大の喰ひ込みがなければ經營して見たいと思つてゐる、北航は乘客は大した事はあるまい荷物は北鮮より生牛大豆鑛物があり北日本より日用雜貨其他の入荷が必ずしも少くはなからう、神戸の

▲川崎造船所 で進工してゐる一千五百五十噸の朝郵新造船は六七月頃に出來て來る筈です、此船は先年二十九萬五千圓で註文したのだが暴騰した今日の時價では七十萬圓以上の値を持つてゐる、乃ち四十萬圓以上の利得を會社は得た譯だ、予の滯京中の永引きしは全く日本郵船會社の重要問題商議參與の爲めであつた、然し近藤中野兩氏外財界有力者の斡旋で問題は漸く解決し來る二十五日臨時總會を開いて重役增員に關する定款改正案を附議する事となつてゐる、重役の候補は何れも第一流の實業家だが未だ公表の域には達してゐない云々

◎亜爾然丁政府宣言

亜爾然丁共和國は宣言書を發表し對獨關係に於て米國の立場を支持す可しと聲明せり(倫敦電報)

◎ヘーグ軍高地占領

ヘーグ元帥よりの公報に曰く戰勢は一般の方略に從ひ順調に進展しつゝあり我軍は十一日朝モンチーラブルー村落及び同村高地を占領せり其他の部分も全線到る所我軍に有利なり(倫敦電報)

◎勃國の大暴動
獨逸に對する不平の爆發

勃牙利の數箇都市に於ては獨逸の横暴に對する一般的不平の爲め暴動勃發せり殊に首府ソフイヤにては獨逸騎兵大群集に突撃を行ひ多數の死傷者を出せり勃牙利軍隊は時として群集に左袒して示威運動者に對する攻撃を拒み中には群集と共に騷ぎ廻る者尠からず(倫敦電報)

仁川

▲壯丁合格數 本月一日より六日迄龍山に於て施行した丁年壯丁體格試驗に於ては仁川府住壯丁八十一人中二名は病氣の爲め次年に延期し甲種合格二十九名第一乙種十四名第二乙種十五名にて二十一名の不合格者ありたり▲基本金寄附 仁川濱町廣澤正次郎氏は今回仁川學校組合立幼稚園基本金中へ五十圓を寄附したり▲選擧名簿調製 仁川學校組合議員選擧有權者名簿は十五日迄に調製し廿一日より縱覽せしむ可しと

木浦

▲銀行營業成績 三月中に於ける當地三銀行の營業成績を聞くに預金預り高百五十四萬五千八百四圓拂戻高百七十一萬四千九百十四圓月末現在高百〇九萬六千五百十四圓にして貸金貸出高百五十萬八千二百八十九圓回收高百四十萬七千八百八十九圓月末現在高百三十八萬五千百八十六圓手形仕拂高九十七萬四千九百九圓被仕拂高四十八萬三千六十九圓なりと▲税關收入 三月中の當地税關收入は酒税四百五十圓輸出税一千三百二十一圓輸入税三百六十八圓移入税九千二十圓噸税百十九圓諸收入二百四十二圓合計一萬一千五百二十圓にして之を前月に比すれば二千二百四圓の增加なりと▲海藻初廻著 今十一日莞島産天草三百斤莞島産布海苔二百斤青山島産同五百斤當地に廻著せり之れ本年の初廻著なり▲黑田侯令嗣 昨十月來木三吉野に投せる黑田侯令嗣長禮氏は今十一日港内外加山島方面に於て鳥獵を行ひたるが尙ほ三日滯在の豫定なりと▲小學校運動會 當地小學校春季運動會は來る二十九日當校庭に於て擧行の事に決し目下準備中なり

人事

▲石川信重氏(京城地方法院檢事) 十二日朝[illegible]京任地へ
▲木部讓次郎氏(久原鑛山社員) 十二日[illegible]
▲小甚齊氏(鐵道局建設課長) 十二日夕釜山通過内地へ
▲神田宗孝中佐(平南憲兵隊長) 十二日午後入京[illegible]
▲松永武吉氏(京畿道長官) 十二日午後仁川より歸任

逐鹿夜話

▲小兒香象君が東京市の[illegible]候補者[illegible]名に就て卦をたてた[illegible]、三木、鳩山、古島、[illegible]、荻野の九人は盛運上吉だから當選するに相違ない其れから[illegible]、北田、岡田の四人は中の上運[illegible]原、関、鈴木、伊藤、坪谷の五人は[illegible]遅れよりは稍々劣る相[illegible]狂はせの觀があるまさかウキハクンを當てた樣にはいくまいテ

▲最一さつ某有力な[illegible]君が[illegible]の前袖を卜した處では憲政[illegible]の片岡直温君が『風雷益』で當選は[illegible]付き同顧問の島田三郎君は『澤無一貫』で再選に疑[illegible]岩君は『天水違行』で初吉[illegible]で當選後違反者を出してヒョンな事にはなりはすまいか政友の雄將鶴[illegible]聽聞君は『觀の初六』で人氣に投じ無い樣である尾崎行雄君は雁が巖の上で餌をつゝくの象で地盤は大磐石の如く樂觀に値する河野[illegible]中翁は『火雷噬嗑』で地盤に物議が起り易いから氣をゆるしては駄目政友總裁原敬君と國民總務の犬養毅君は『火澤睽』の孤矢を張つて敵すといふ洵に勢ひ猛き卦である花井卓藏君は『風火家人』で極めて親しみ多い吉兆の卦で之れ又た當選容易政友の老將井上角五郎君に至つては容姿よい財産家の娘が嫁ぐ樣な象で地盤は平靜此上なく先づ大丈夫大岡育造君は所を遷して利益ある卦だ只徒に切入れば意外の獲物がある濱口雄幸君は和樂多き象で自ら驅を陣頭に馳せねば損失を招く仙石貢君は三疋の虫が一皿の中に爭ふ卦で小區域内の政爭で不覺をとりはすまいか元田肇君は天は旋し地は生ずるの象で結果甚だ宜しい箕浦勝人君は行中の玉を蘊むの象で運氣立ち還る時の[illegible]である武富時敏君は地水師の初六で懸引を規律づくめで行らねば失敗する事がある安達謙藏君は節の[illegible]を出て[illegible]ふので非常に成功落選の[illegible]地なし床次竹次郎君も非常な[illegible]で當選疑ひなしだと當るも八卦當らぬも八卦だが鳥渡當り相なから面白い

□東都花信

東都の客舍に病臥中の熊谷鐵城氏よりの近信に曰く

東都の花も昨今が滿開、此御座候遙かに京城の天を仰ぐ

傘○影○衣○香○來○往○頻、西○阡○東○陌○[illegible]○芳○塵○
櫻○雲○濃○淡○春○三○月、京○洛○煙○霞○[illegible]○人○

鐵城 病容

蠅退治（四）

△京城の蠅は著しく減つた
△光熙門外塵捨場の大撲滅

府衛生事務囑託 田中半四郎氏談

「蝿の都」「蠅の都」これは從來外國の旅行者が京城を批評した言葉である、蠅は大正四年三月から此の蠅の都を蠅の無い都に爲ようと努めて居る、今春もすでに去る三月二十三日から四月十日まで親蠅十六萬八千七百四匹捕たこれを枡で量ると約

▽六七升の蠅 であるが此の中半數を雌蠅としてそれが一匹假りに百の卵を産むと假定しても八百四十三萬五十匹となる勘定、これが鼠算的にドシ〳〵ドシ〳〵増ね出したら蓋し莫大なものとなる、蠅を殺すのは今である、かへす〳〵も今である、最初私が蠅退治に就いて注意したのは光熙門外の塵芥捨場であつた、そこで試みに行つて見ると

▽眞ッ黒い奴 がブーンと來て眼も開けられぬ恐ろしい蠅軍、これではとても堪らぬと思つた、其處で此の恐るべき大敵を撲滅するには先づ親蠅よりも幼虫（白い蛆虫）を殺さねばならぬと考へた、それで試みに腐敗した塵芥を掘り返して見ると五寸四方に五千三百匹の蛆が蠢めいて居る、成ほどこの蛆を殺せば容易だと思つたから種々試驗したあげく生石灰百斤を

▽四斗樽四樽 に溶いた（石灰一貫匁ならば一斗六升、百匁ならば水一升六合の割）それを件の蛆にぶちまいたのである、これは非常に有効であつた、次にまた米人ハーバート氏の説によれば蠅の幼虫と蛹とは多眠の上越年するといふことである、私も大正四年の冬に研究して見るとなるほど塵溜や馬糞の温かい處には非常な蛆が多眠してゐる、そこで

▽春先に於て 前年來の蛆を撲滅することにも努めて居る、ところが又これから毎日のやうに市中から運搬して行く塵芥といふものが何れも莫大な卵や蛆や蛹を包むであるからわが光熙門外の塵溜場では是非共これを全滅せしめなければならぬ、そこで私は先づ新らしい塵を斜面に積みあげそれに三方から火を放つて一種の有毒瓦斯を造つた瓦斯は

▽幼蟲を殺すに は非常に有効であつて蛆はドシ〳〵北方へ逃げて行くから（北へ逃げるのは蛆の習性）北處にまた生石灰をかけて撲滅したのである、此の方法は經濟的でもありまた非常な有効なもので唯だ雨が一番大敵であつた雨が降ると蠅の卵が蛆虫になるに最も都合よき湿氣を生じ且つまた生石灰が無効となるから困る、併し此の方法で一昨年以来殺した數は實に莫大なものである、次にまた

▽塵芥捨場の 親蠅に對しては彼處に鐵板の戸を有つた小舍を造り夜間その裡に薬を吊つて蠅の眠り場所としたのである、新くして朝の未明に至り扉を閉じて火を放ち小舍内の親蠅を悉く燒きつくす趣好である、此の方法も亦非常に有効であつて多くは一度に五六升を燒いた、此の光も雨の降る時は一日數回これを行ふが頗る成績がよいやうである、此の小舍は

▽獨り光熙門 外のみならず西大門、東大門、南大門等市外から田舍の蠅を輸入する場所にも設けたい、昨今では光熙門外から市中に入る蠅は極めて尠なく其の多くは田舍から來るのが多いのである、光熙門外では汚物運搬者が市中に入る時これにクレシン液などをふりかけて居るから人馬車にとまつて來るやうなとは決して無い（つゞく）

〔○◆○◆○◆○◆○〕◆讀者より◆〔○◆○◆○◆○◆○〕
○蠅退治は近來稀に見る最も有益なる記事なり斯る記事は内地人のみならず十三道の鮮人にも讀ましめたきものなり（長谷松吉米助）○[illegible]には消火器を備へなければ營業を許可しない樣に飲食店にも自動蠅捕器を備へしむる事にしたならば蠅撲滅の一大良法であると信ずる（保健男）○郊外の蠅が電車で市内に輸送される事は實に恐しいものであらうと思ふ今日は是非共自動蠅捕器を電車内に備へ付けてもらひ度いものです（公德生）○日本で蠅退治をやつて居る所はわが京城あるのみ流石に京城はハイカラだ（コーマアゾ生）○蠅をふせぐには各自に於て街に野糞や小便をたれぬと不潔物を捨てぬ塵芥はすべて塵箱に入れるを肝である（市内衛生家）

自動車爆發して倉庫燒失す
揮發油に引火＝損害約二萬五千圓

平北博川郡南面京義線孟中里佛國人鑛業エーエム、ロンドン所有自動車倉庫にては四日午前五時十五分頃自動車にて貨物を雲山郡大楡洞に運搬する爲自動車に手入れ中火鐵力（タブレーター）より傍らにありたる揮發油に引火したる爲め俄然大音響を發して爆發し自動車は滅茶苦茶に破碎されたる上火は忽ち倉庫に延燒して亞鉛板葺一棟を全燒するに至りたり幸に人畜に死傷なかりしも損害額は自動車七千圓、倉庫一棟六百圓、機械及び附屬品木材、衣類等約一萬七千四百圓合計二萬五千圓なり因みに爆發の音に驚きたる附近人民約十五名集まり消防に努めたりと

玄界荒る
連絡船引返す

◆十二日釜山にては朝來北東の風激しく吹き正午より降雨を交へ午後は暴風雨となりしが午後五時に至りて雨止みしも風倍々甚しく北々東の強風、風速十二秒米突を示し十三日午前迄繼續せり（釜山特電）

◆十二日夜釜山を出港せる連絡船高麗丸は北北東の暴風烈しく航行するを得ず港外より引返し港内に假泊せり（釜山特電）

◆十三日朝釜山出港の筈なりし連絡船對馬丸は暴風の爲め出港するを得ず風未だ歇まざれば出港の見込付かず（釜山特電）

◆連絡船さくら丸は風波を冒して十三日午前九時二十分辛うじて釜山に入港せり（釜山特電）

一家族五名猛火の中に叫ぶ
平北鐵山郡小部落の慘事

平北鐵山郡雲山面根川洞農朴鳳郁方灰棄場の殘火より八日午後十一時三十分頃發火し屋根裏に延燒して室内全部猛火に包まれたる頃家人が眼覺ませしも既に遲く家族五名の内長女坤女（三）は無慘の燒死をなし鳳郁（三）妻安氏（三）は全身に大火傷を負ひて重態に陷り長男（八）と二男（二）の兩名も輕傷を負ひたるが同部落は十七戸の小部落にして發火の發見遲かりし爲め眞先きに駈付けたる黄段夏、田龍起の兩名は猛火の中に躍り込み狼狽の餘り既に燒死せんとする家人を救ひ出したる位ゐにて居宅家財全部を燒失し損害約六十五圓なりと尙火傷者は目下隣家に收容し官憲保護の下に公醫及び醫生をして加療せしめつゝありと

斧を揮つて大猪を斃す
摘草中の鮮婦人重傷を負ふ

咸南端川郡水下面內村里趙內仁妻李菊蕾（三）が三月二十九日午前十一時頃附近の野原にて摘草中突然一頭の大猪出現したるより菊蕾は大聲に救ひを叫びたるに件の猪は牙を鳴らして同女に飛掛り右脚大腿部外八箇所に重傷を負はせたるが悲鳴を聞きつけて附近山中にて薪採り中なりし金辰善、沈基化の兩名が現場に駈付け斧を振つて荒れ狂ふ大猪と格鬪し兩名共一二箇所の輕傷を負ひたるが間もなく遂に殪したり菊蕾は頗る重態なるも生命には多分別條なかるべし

宗祖上人御遠忌

◆宗祖上人御遠忌 四月二十五日の朝、親鸞上人遠忌法要執修のため本山の御門跡大谷光演伯來京二十七日まで滯在さるゝ趣きを信徒に知らせるため京城府廳前及び南大門驛前に建札を出しました、法主滯京中には本願寺に於いて骨堂供養を營み、御門跡の讀經があるさうです、本願寺の納骨堂に骨を預けてある方は當日是非お詣りをされたいとの事です

黄塵降る

平北西南部各郡一帶にては四月六日早朝より一天掻き曇りて太陽の光線さへ分明ならず終日黄砂塵降りしきりて四面幽暗物凄き天候となり翌朝に至り見るに屋根と言はず草木さへ一面黄華を咲かせ居たりと而してこは支那弋壁の砂漠より襲來したる砂塵ならんと云ひ朝鮮人はこれ豊年の兆なりと喜び居れりと

◆牛の難産 咸北慶興郡雄基[illegible]中上里河鳳鉉は六才の牝牛を飼ひ居りたるに[illegible]ろに姙娠中の牝牛は間もなく産氣付き[illegible]出産したるも難産にて容易に出でず牛は悲鳴を擧げて悶苦しむより[illegible]其の兩足に兩手を掛け引出さんとするも[illegible]出でず[illegible]したるに牛は[illegible]出したる[illegible]し死亡したる由[illegible]（慶興）

弔文に相續人の非行ダラく

▽讀み上げて訴へらる 和歌山市甲斐卯吉は其友人大平竹松の葬儀に列し弔詞を讀み上げたるに其文言の中に相續人大平隆の非行を陳べたりとて大平は名譽毀損の告訴を和歌山地方裁判所に提起せり（大阪電）

郡參事の美擧

慶北盈德郡盈德面南石洞居住郡參事金暢鎮（六三）は平素節約を守り公共事業に盡瘁する所少からず大正三年内地櫻島爆發の際は金百圓を鹿兒島縣知事に送附したるが這回盈德郡内貧民百八十戸に對し一戸に大麥二斗五升宛を救恤施與したりと

我家に放火す

咸南三水郡好仁面蕙城里金斗逸は同里にある自己の貸家が空屋となり居たるを他人に託して旅行中歸り見れば他人に貸しあるも家賃を支拂はぬのみならず却つて惡口したるより立腹し借主を立退かしめ放火し全部燒燬したる事此程發覺して檢擧され放火被告事件として檢事局に送られたり

讀者文藝（一等には五十錢の當籤券を呈す）

▽下句付「拾ひ物」
○拾ひ物命を寺へ届け出で（一等） 龍山元町四 美芳
▲—届け損れて鰯が付き 京城 鍋涯
▲—する紙で株券も買て見る 龍山 小草子
▲—正直者の鋳になり 龍山 乃美

繪の中の長谷川總督
乙密臺上に立つた凛々しい其姿
各小學校の巡視＝平壤滯在第二日

年は取つても矍鑠たる元氣の長谷川總督は、慌だしい羇旅の疲勞もなく十二日は

▣午前六時 といふに早やお目覺め、朝寢坊の女中を驚かして朝食を執り、寢衣を軍服に著替へて、九時と云ふに旅館柳屋を出る、衛兵の吹き鳴らす

▣喇叭の音 を後に聞き流して一行と共に先づ自動車を平壤覆審法院に驅る、島山覆審法院長、松寺檢事長、勅使河原地方法院長、關口檢事正以下職員の出迎を受けて、院長室に入り、管内狀況を聽取した後、各部を巡視して高等普通學校に向ふ

▣同校では 田中校長の簡單な學事報告を聽いた後、校長に對して生徒教養の方針を質問し、「殊に精神教育を忽せにせぬやうに……」と希望を述べて各教室の巡視に移る、農業習字理科等の實習實驗を見て頗る

▣滿足の意 を表し十一時十五分、女子高等普通學校に赴く校長代理小松教諭が例によつて學校の現狀を報告すると總督は幾度も首肯いて又例の如く各教室を參觀する、裁縫、刺繡、造花、作文等の授業を

▣最も熱心 に見て教師に何事か質問がある、階上陳列室では山縣政務總監揮毫の額書を手本として生徒の刺繡の額を見て「ウム却々よく出來とる」と其の精巧な出來榮に感心し、寄宿舍では無數の寢具、器具が一糸紊れず、井然として

▣整頓して 居る處を目擊して思はず感嘆の聲を放ち、夫れから小松教諭に向つて「良妻賢母は如何なる方法によつて教育するか」と質問し十一時四十分同校を後に楊柳爛る大同江岸に自動車を飛ばして乙密臺に登つた、少時佇んで

▣清麗雄大 な四方の風光を觀望した上、徒步で浮碧樓に向つたが滿驅長身威容堂々たる總督が乙密臺に立つた姿は繪にも描かれぬ程凛々しいものであつた浮碧樓ではかねて同所で待合せて居た市川旅團長、野島聯隊長、島山覆審法院長、松寺檢事長、勅使河原地方法院長、關口檢事正、張參與官、篠田一部長、富永二部長、水谷寺洞鑛業所長の諸氏と

▣共に記念 の撮影を濟ませ眼前に展開する佳景を賞しつゝ有名なお牧の茶屋に入る、一行は此處で午餐を喫しながら緩やかに流れる浿江を上り下りの朝鮮船や、眼下に浮ぶ綾羅島の大同門、箇ては遙かに霞む舟橋里の戰跡を背景として

▣歡談に花 を咲かせ、午後一時四十分と云ふに再び自動車上の人となり平壤驛で下車して寺洞へ!!

寺洞鑛業所へ

總督一行を乘せた臨時列車が日射す寺洞に著いたのは午後二時三十分、驛頭には是より先、寺洞學校組合議員、在鄕軍人、赤愛兩會員、學校生徒、鑛業所員等約三百餘名が總督の著車今や遲しと

▣待ち受けて 居た總督は改札口を出ると以上堵列の前を莞爾として輕く會釋しつゝ通過し夫より水谷寺洞鑛業所長の先導で鍊炭場、發電所、各工場の巡視に向ひ、第一第二の炭坑までも詳しく視察の上本館に入り所長から簡單に

▣事業の概況 を聽取し集合所で少憩した後午後五時平壤に歸著柳屋旅館に巡視第二日の塵を拂ふた（平壤支局記者）

●鮮人の慘死 龍山南大門兩驛間の鐵道線路上に鮮人轢死者あるを[illegible]府へ引渡したり原因不明なるも前後[illegible]

●連絡船上陸客 十二日午前[illegible]入時釜山入港高麗丸二等客[illegible]一等（十四名）[illegible]二等客[illegible]

課題（文藝）及募集規定 [illegible]
募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚に[illegible]雅名の外に住所氏名を[illegible]

商況

債券現物特電（十三日川本商店）[illegible]
公債直取引（東京）[illegible]
深川在米特電 [illegible]
東京期米特電 [illegible]
大阪三品特電 [illegible]
大阪期米特電 [illegible]
下關期米特電 [illegible]

雜報

◉綿糸布氣丈 米棉も反動か呼戻し一圓二十錢安 [illegible]
十手一圓五十錢高 角七十六手一圓 [illegible]
細布の十一圓說 粗布の一二百圓 [illegible]
◉大豆活躍こ前途 大豆は俄に活氣を呈し三十錢方騰貴 [illegible]
◉平板は續騰 方突飛し三圓二十錢 又々二十錢 [illegible]
額丈の低落 仁川其他開港積輸送中止は其差 [illegible]
◉輸出米近況 五萬六千餘石の分送り了 [illegible] 約一萬噸程の輸出を試む 各々其計畫 [illegible]
◉氣迷ひ [illegible]
◉白米小賣値上げ 五厘方引上 [illegible]
共に相應の荷捌 大連送りの分 [illegible]
京城雜穀 [illegible]
◉鐵板は漸騰 三四十錢方の鞘 [illegible]
◉滿洲色豆初輸入 三十二圓内外 [illegible]
◉直輸入の試み 近々廻著 [illegible]
◉夏冬セル物 約三四割方の騰貴 中以下品の製造料 [illegible]
◉氣配愈々强し [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 まるにち 日 仲買店 電話 一八二三番

仁川現物市場

[illegible]

釜山穀物（十二日）

[illegible]

生魚市場（日の丸市場）

[illegible]

釜山水産市場（十二日）[illegible]

仁川期米

▲十三日前場 大阪十六 昨止より一圓七十八錢と一錢高の入電一節 同事移り [illegible] 依然保合 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 大五仲買店 電話 九〇九一二

市場零聞

▲依然保合ひ [illegible]
▲前場の手振 [illegible]
▲大阪の變 [illegible]

仁川米豆取引所

十三日の六月限 [illegible]

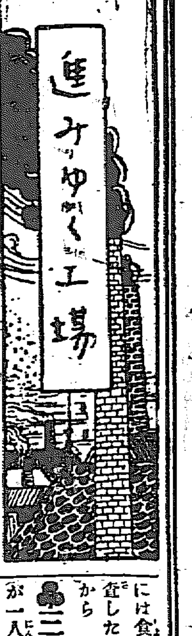
青物だより

[illegible]

▲日の商内 [illegible]
▲三の商内 [illegible]
▲イの商内 [illegible]
▲保合乎否乎 [illegible]
受取米の如何に處分するや現下の大問題 [illegible]
部を實に中限に受取米の一 [illegible]
前約定の餘は期米輸出も [illegible]
尙今後に屬する麥作の良否 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 利 森仲買店 本宅電話 [illegible]

て卽死を遂げ居り要金二十餘を所持せざる者も十四日朝京城市內配達の…し居りしが身元判明せず死體は京城…郵便物には內地便を含ます



▽朝鮮唯一の製絲場

昨年中に製造して販賣した生絲は六萬七百餘圓に上つてゐる

朝鮮の風土が養蠶に適して居る事と近來當局の奬勵其の効を奏し著しく發達した事もよく聞く事であるが其の收穫した繭は殆ど悉く繭の儘で內地に移出せられ

♣養蠶の發達こ 共に進歩しなければ成らぬ製絲業が如何なる程度まで進んで居るかと云ふ事は多くの人の語られぬ、多くの人の知らない處である、其れも其の筈である朝鮮には唯一箇所の京城恩賜授産製絲場の他には製絲場と稱すべき程のものは全く無いのである、朝鮮の蠶業は年一年と發達して行く然かしそれは原料繭として何時までも內地へ移出すべく發達してゆくのであらうか朝鮮の製絲業は有利であるか有利で無いか此の間に對して

♣實地に解答を 與へて居るのが卽ち京城授産製絲場であるのだ此の工場を觀に行つたのは此の前の土曜日の事だ麗らかなる春の光が獨立門の大通りに一杯に陽炎を成つて燃ね上る午後であつた主幹の住友三四郎氏に案內されて貯繭倉庫、選繭場、汽罐、生繭乾燥場、工女寄宿舍場製絲場揚返場生絲仕上場屑物整理等を詳細に見せて貰つた、白金のやうに光る生絲が煙の末の如く細く繰り延べられてゆくのが限りなく快よき感じを與へる目下工女は朝鮮人九十七名とそれに

♣內地人の模範 工女が七名這入つて居る大正五年度に購入した原料繭千四百四十八石であつて主として京畿道で産したものを購入して居る而して大正五年中に販賣した生絲は六萬七百一圓三十五錢に上り其內輸出生絲五萬四千四十四圓九十七錢地還絲六千六百五十六圓三十八錢に成つて居る輸出絲は橫濱に出荷し保稅貨物扱ひとして三井物産に委託販賣し信州上一番絲と同格又は二三十圓高に賣れて居る地還絲は輸出向絲の繰れぬ

♣見習中の工女 が繰つたもので京城、平壤、居昌、大邱等の機業者に多く賣り渡されて居る朝鮮工女は十四歲以上二十五歲以下の京城市內の居住者であるが全部場內に寄宿させ一日に十四錢宛の食費を支給し三箇月間の見習中は食費の外に一箇月五十錢の賃金を與へ一人前の工女には食費の外に製造生絲の品位を審査した上で一貫匁に對し二圓六十錢から

♣三圓迄の工賃 を支給する、一人一日の製造高は大凡六七十匁であるから朝鮮婦人の職業としては先ず最上の收入と云ふべきであらう作業時間は毎日午前六時から午後七時迄の十三時間で此の間三十分の晝食時間が與へられ毎月一日と十五日及び大祭祝日は休業させる事に成つて居る住友主任の話に由ると

♣朝鮮人工女は 內地の工女に比べると性質が柔和であるため取締上の困難を感じないが其の代り忍耐力が乏しく修業中途で挫折する者が少くないとの事である此の工場は併合當時の恩賜金を以て朝鮮人に授産の目的で創立されて居るから勿論

♣營利は二位に 置かれ原料繭の買入の如きも地方養蠶家の爲めに能ふ限り高價に買入れて居るがそれでも今年度の如きは二萬圓以上の收益を見て居る位であるから確實なる經營者の手を俟つて一大發展を爲すべき事業であらう

京城恩賜授産製絲場

●不思議の傳說ある名軸

岩本家所藏の揚文聰賣却由來

去る二月大阪故岩本榮之助氏所藏品入札品中の名品として知られし揚文聰の水墨山水はその持主に必らず祟るといふ傳說より

□誰一人入札 するものもなかりしが同品は岩本氏が曾て三萬三千圓にて入手せし名品なれば其儘にもなりがたく札元の山中吉郎兵衞兒島山中與七土橋服部の五名が共同にて五萬圓にて買取る事となし爾來買主を物色中なりしが

□能登七尾の 樋爪讓太郎氏は岩本氏入札品を下見の當時より世に稀なる逸品なりとて垂涎せしが何分同品は最初鳥羽の石黑先生が愛藏しそれより尾張の中野龍田先生に移り次に梅逸が夫婦別れまでして買取りしものにて梅逸が此軸を抱きて京都に入りし時は山陽など厥袴にて洛外迄出掛けたる位ゐ

□其後久しく 美濃の多治見の柘植家に傳はり轉じて尾張鳴崎の井口半兵衞氏次で岩本氏の有となりしが不思議や此の名軸を手に入りし家は何れも不幸の事多く柘植家は此の軸入手以來不如意つゞきにて主人は死亡し井口家も衰へて主人死亡ついて岩本家は株式失敗短銃自殺を遂ぐるに至りなど其の經路甚だ良ろしからねば樋爪氏の

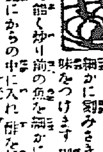
□所望せるを 友人などは再三再四斷念せしめんとはせり然るに樋爪氏は意志堅固なる人にて祟ある名畫とあれば一しは興ありこの一幅によりて我家の悲運に陷るか又それほど我家は薄弱なるものか、よし衰運に赴くとなればこの幅なくとも衰ふべし此の一幅は我が運我が財産を動かすに足るかそれを試すも面白しとて

□遂に高山中 の手より話纏り五萬圓にて賣却と決定せり而して曾て尾張の中野氏の手にある時は尾張の揚文聰と呼ばれ美濃の柘植氏の手に移りて美濃の揚文聰と呼ばれしがこれよりは能登の揚文聰と云はせんとて十日大阪の各社及び東京側にては國民新聞記者を網島の鮒卯樓上に招き樋爪氏初め右骨董商店床に

□祭壇を設け 揚文聰の一幅をかけ其上に香爐を置き天滿天神の神主寺井種臣等は嚴に淨めの祝詞をあげ名畫に傳はりし忌はしき風說の祓式を行ひ終て名畫が大阪を離れて遠く北陸に移り行く送別の意味にて宴を開きたり斯くてこの名畫は淨められて新らしき人の手に愛藏せらるゝ事となりぬ風流な話なり（大阪支局）

●離婚を迫られて殺害す

京畿道楊州郡白石面□城里農李照台（三七）は不具者なるが妻崔姓女（二九）が四月二日夜夫が人並みに立働き出來ざるを口實として離婚を迫り他に男を求めて同人へ轉嫁したき旨を申込みたるより大に憤り其の男の氏名を白狀さすべく崔姓女の內股を捲して後頭部其他全身を木枕にて亂打し遂に絶命するに至らしめたるが照台は翌日楊州憲兵分隊に自首し目下留置取調べ中



▲酢入りの卯の花 魚を…たつぷりにして… 玉蒔を五目壽司の具のやうに細かに刻みさきの魚の汁にて味をつけます別に豆腐のからを入れて能く炒り煎の魚を細かにむしり煮汁を具と一緒にからの中に入れ酢を好みのほどに加へこげつかぬやうに杓子で搔きまぜながら汁氣のなくなるまでよく炒り上げるのであります魚は鯛の類が安價で味がよろしうございますが上がつてから細かく刻んだ生姜をまぜると彩りもよく味もよくなります之を炊きたての御飯の上にのせていただきます、恰も卯の花壽司のやうに結構であります見てから…ふ、鍋がアルミニユームの類を用ひ瀨戸の…など用ひてはいけません

視察團員に御注意

編成

◆第一 全團員中より二名の代表的名士を選抜して團長、副團長に推し猶ほ全團員を數部に分ち一部を二十名宛とし更に一部を二班に分ち各部員の互選を以て部長班長を選定し終始主催幹部側との連絡を保持す

◆第二 主催兩社より視察團附として特派隨行す可き幹部員は左の如し

幹部長一名 總務一名 接待兼通信二名 庶務兼會計一名 接待四名 接待兼寫眞一名（計十名）

猶ほ鮮鐵、滿鐵よりは各二名宛の特派員の隨行あり幹部員を援けて視察團の行動に些の遺憾なきを期せらる可し

會費

◆第一 南北滿洲視察團員一名の會費を金壹百圓とし入會希望者は原籍「現住、職業、氏名、年齡を明記し之れに會費全額を添へ主催京城日報兼毎日申報社經理部長藤村忠助宛申込まれたし

◆第二 主催社は前記會費を以て二等往復汽車賃「宿泊料、晝食代辨當代及び團體行動にて各所視察中の馬車「電車、腕車等の費用一切を支辨す

◆第三 旅舘滯在中又は途中に於ての酒、煙草又は其他の個人的特別注文は勿論團體を離れ任意の自由行動中の車馬賃、飮食等一切の費用は總て自辨たる事を承知ありたし

◆第四 四月十五日京城出發團體行動に移る迄と同廿九日京城歸着解散後の一切の費用は總て會員各位の自辨たる事を豫め承知ありたし

集合出發

◆第一 京城以南の會員諸君は四月十四日夜迄に必ず入京出發當日卽四月十五日午前八時迄に南大門驛特別待合室に集合せらる可し

◆第二 京城以北の會員諸君は隨意各所在地の停車場より其驛長に視察團員たる事を屆出で四月十五日午前九時十分南大門驛發車北行の第一（列車番號）列車に增結せられたる滿洲視察團專用客車に乘込まる可し

服裝

◆第一 本視察團は各視察地に於て日支の官憲其他を訪問し又地方官民有志の歡迎會に列席する場合も屢次なれば見悄からざる相當の服裝あらん事を希望す

◆第二 旅行中なるが故是非共フロックコートを携帶するの必要なきも和服の內地人は羽織、袴朝鮮人は相當禮裝の準備ある可し

◆第三 各所視察の便宜上履物は成る可く靴を使用し帽子は是非共山高又は中折帽子を戴く事とせらる可し

◆第四 滿洲の四月末の陽氣は奉天以南は京城平壤等と格段の相違なきも長春、哈爾賓等は約半箇月間遲れ朝鮮の四月上旬位ひの陽氣なれば外套は薄手の物、洋服、襯衣、洋袴下等は多物と間物の二種を携帶せられたる方完全なる可し

◆第三 萬一出發時間に遲刻せられたる場合には團員の資格を失ふが如き事なしとも限られざれば豫じめ乘遲れ等の事なきを期せらる可し

携帶品

◆第一 携帶品は成る可く省略する事を本位とするも膝掛か毛布を一枚と寢衣は各自一枚宛準備せられたる方便利なる可し

◆第二 名刺は少くも各自百枚を持參成る可くは職名、住所を附記したるものと爲されたし其他の必要携帶品は

△金入△懷中時計△ハンカチーフ△手拭△歯磨楊子△齒磨粉△石鹼△櫛△ブラシ△水筒△防水手拭入△手帳△鉛筆△ナイフ△風呂敷等

◆第三 京城在住の團員諸君にして四月十四日正午迄に入京せられたる諸君は奉天迄の列車內に於て必要ならざる手荷物は一纏めにして十四日午後四時迄に本社に御携帶の上預け入れられたし

◆第四 旅行の本則として手廻りは個數を少く荷造りする事とし又各個に必ず一枚宛の名刺を嚴重に附せらる可し

主催　京城日報社　毎日申報社

演藝案內

京城壽町 電話五七八番 **壽座**

▲四月十六日より十日間…五日間…明治…新派劇…[illegible]

明治町 電話二六〇 **浪花館**

▲女保吉田奈良女

大阪新派女浪曲師一座 ▲廣澤虎春特別出演 旭旗風（奈良一）、須磨の浦風（六和）組まさい（三笑）御前試合（奈良長）大尉（虎雄）景清議出錄（虎春）雪の曙、登川利生記二席（奈良女）

櫻井町 電話八七三 **大正館**

○舊劇 日月太郎…一派出演 ○喜劇…

○滑稽活劇 チャプリンの散步 全二手映

京城壽町 電話一〇九〇三 **壽館**

曲目 ▲赤垣源藏（翠波）▲常陸丸（翠竹）▲宇治川（下）（翠嵐）▲鉢の木（翠松）▲扇の的（翠嵐）▲川中島（翠汀）▲吉野詣（翠櫻）▲村上喜劍（翠汀）▲本能寺（翠香）▲金剛石（合奏）▲伊賀の曙（旭漣）▲伏見の吹雪（旭…）▲映…▲景清（旭城）▲湖水渡（旭鷹）▲橘中佐（旭秀）▲項羽（旭房）▲賤ケ嶽（旭松）▲大高源吾（旭照）▲檀の浦（旭理）▲護良親王（旭…）▲菅公（旭水）▲茶臼山（旭…）

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 早川演藝部直營 電話一二〇五番 **有樂館**

四月十三日より特別寫眞提供 ◎有樂館の特別興行 米國ユニヴアーサル會社藝術寫眞「特別權利附」ブリユーバードフイルム特作品

▲大悲劇名婦（厄になるまで）

…「モード」よ戻れ…

▲小きん新太郎はかなき緣 全四卷

◎觀覽料普通料金にて御覽に入れ候

封切寫眞を見ましたか？ 長も信用ある有樂館のユニヴアサル會社の藝術寫眞

大悲劇名婦を!!

「厄になるまで」お坊ちやんも、孃さんも、紳士も學生も是非見なければならぬお寫眞が今日から

「有樂館」に現はれました

◎一萬圓位は 誰にも貯金が出來る

▲世の中には一生懸命働いて金を殘す人あり、其他の人なぬ人あり遊んでゐて金を殘す…病人こそ老人こそは論外だが、男でも女でも月給取でも農民でも商人でも勞働者でも一萬圓位の貯金は骨折れずに出來る工夫がある▲余は元茨城縣の貧家に生れたが、十年間苦心の結果余の財產は將に四十萬圓を越き五十萬圓に達せんとす余は其苦心實驗により茲に何人にも實行し得る一萬圓貯金法を立案し廣く世人に公開せんため毎月一回榜開雜誌「貯金の研究」を發行す▲本誌一度世に出づるや好評嘖々當行飛ぶが如し、然のみならず讀者は記事に感心して直ちに貯金を始め、中には本誌を五十部も百部も買つて親戚知人に分つ篤志家までも出て來た、余は此意外の成績に感激して將來貯金の獎勵に全力を盡さんとす▲早く家を富ましたい貧窮の苦みより脫したいと思はる、方は速に『貯金之研究』の愛讀者たれ、郵便切手十二錢送れば見本二冊送る、一年分送料共割引六十錢、儲ける考へでないから雜誌代は安くしてある、注文は必ず添金拂替貯金に御拂込あれ

東京市神田區表神保町十番地 一力貯金主唱者 高柳淳之助 振替貯金東京三〇八九番

株式名義書換停止

來ル四月二十五日ヨリ五月定時株主總會了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス

大正六年四月 東洋拓殖株式會社

電話開通 電話一六四〇番

京城黃金町一丁目 京忠自働車商會

大阪市東區安土町四丁目角 … 電話本局八〇五番・年中無休・振替大阪九四一四番

勤業信券貯蓄 ㊓ 小尾両替店

買 若券次第送金 即時換金 賣 若金次第送券 送料負擔

相場は毎月上下旬大朝中旬新聞廣告

價格表 一覽表… 往復葉書御申込あれ

書畫骨董競賣廣告

支那骨董商携帶品及當地某家所藏日本支那朝鮮の珍器書畫等五百餘點を左の方法に依り競賣仕候條下見の日より御來臨被下度候

時 四月十四日下見 四月十五日正午より競賣

場所 南山町原金旅館（電話二二五番）

京城美術俱樂部

四月十四日より開館

◇天活會社代表的作品 ◇有名なる大寫眞

◙孫悟公 西遊記（全卅卷）

內四卷上場以下引續上場

◆西遊記は有名な唐の文士の作つた一種の譚で我天活會社が本年數萬圓を投じ今回完成せる自慢の大寫眞 然も專屬俳優澤村四郎五郎、市川延十郎一派は申武信の山嶽を背景とし積雪を厭ず大撮影したる直に是迄の寫眞とは氣味全く變つた寫眞であります

◆撮影の美觀は寫眞の技術とは思はれぬまでに夢のよう龍宮の花園に遊ぶ心地がします

お馴染の村田蓮谷トンボ會一派出演

新派悲劇 春の辰巳（全三卷）

泰西活劇 金髮婦人（夜の女）

開館披露として本寫眞上場中朝鮮煙草會社特製「花扇」（定價十錢）を一二等客へ「初日」（定價五錢）を三等客へ各壹個宛差上候

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店

黃金館 電話二三七六 六五二番

御披露

時下春暖の候大方諸彥益々御清適奉賀上候陳者 不肖櫻田春曉曩に當地黃金館主任として各位に格別の御愛顧を蒙り候處突如天然色活動寫眞會社の命に依り餘儀なく昨年六月退京大阪千日前同社直營 泰西物專門芦部俱樂部主任罷在候處今回黃金館大改革に際し幸ひにも御當地皆樣の御懇望に依り再度赴任仕り候に付ては平素の御愛顧に報ふべく辯士數名選擇の上四月十四日開館と共に花々敷活動可致候間何卒倍舊の御愛顧賜り度此度御披露申上候

四月十二日

天活會社京釜一手代理店 黃金館辯士長 櫻田春曉

明君道中記

第百十四席 田邊南龍口演

棟木藤右衛門の娘おいねは與三郎の云ふことを聞いて考へて居りましたが いね「それでは與三郎さん何かね御城內へ御普請に入つて歸ることが出來なくなつたといふのは妙な譯ね、其の御普請といふのは矢張御殿を造へるのですか 與「新御殿を造へるのだが、其の御普請といふのが、俺も是まで種々なことを棟梁と一緒に行つて造つたが、今度は大變な御普請だ いね「大變と云つて何ういふ御普請なの 與「決して他言は出來ねのだが據さんだから話しをするが、今度二の丸內へ造へる櫻の御殿といふのは恁うした譯で いね「アー」與「實は今度將軍樣が日光へ御社參に就て十五日に御城內へお泊りになるので いね「それはまア大したことで 與「處が其の御殿といふのは釣天井なので いね「釣天井とは 與「柱は殘す合せ柱にして天井は毛綱で留め上へ盤石を積み、將軍樣が御寢になつた處を合圖をして上から落すのだ いね「何で其麼ことをするの 與「詳しいことは知らねわが公方樣を殺して上州の高崎にお在なさる駿河大納言忠長といふお方を四代の將軍樣に爲やうといふ御領主樣の御謀叛、事成就をすれば俺共まで充分の御手當を下さるといふので、沙汰をするまで城外へ出てはならない、若し背いて出る者は打首、其の餘の者は同罪に行ふといふのであるから仲間の者も共に氣を付けて出さない樣にして居るから何うしても出ることは出來ない、それを今話した通り此の暴風雨を幸ひに皆の睡息を窺つて雪隱の土臺下を掘つてそれから這出し梁御門の喜三を頼んで出て來たので、沙汰をしないと云ふは怎うい譯であつたから決して怨で下さるな」と始終を聞いた娘のおいね大いに驚き いね「それは與三郎さん大變でございます、其ういふ物を造へたのではお前さん御城內へは歸れません 與「何故」いね「何故と云つてお前さんを始め棟梁宅兵衞さん皆殘らず殺されてしまひます 與「冗談云つちやアいけねえ骨を折つて櫻の御殿を造へたものを殺す奴があるものか いね「疾に出來上つてしまつたのに今日まで止め置くといふのは殺さうと云ふのに相違ありません、棟梁宅兵衞さんも此の事には心附きさうなもの 與「何で俺共を殺すといふので いね「妾は女のことで何にも知りませんが、阿父さんは本がお好きで種々な本を讀み妾に話しをして聞かして下さる源平盛衰記の中に、佐々木三郎盛綱が藤戸の城へ一番乘をする時に土地の漁師を呼で海の深淺を尋ねると、其の漁師が親切に淺い處を教たので、スルと盛綱が忝いと云ひながら拔打に漁師の首を斬りました 與「ヘエー酷いことをする奴で、何で其の漁師の首を斬たのだ いね「大功は細謹を顧みずと云つて大きな望みを立る人は小さいことには決して構はない、俺に教てくれる親切者であるから他人にも教るであらう、左すれば淺瀨を渉つて一番乘をすることが出來ないと不愍ながらも此の漁師を斬たのです 與「成程ね」いね「御領主樣が謀叛を企て將軍樣を失はんとして其の釣天井を造へた當下方、何で大事を知つて居るお前さん達を城外へ出すものか、下郎は口のさがなき者必ず殺されるに極つて居りますから何うぞ城內へ歸らずして、此處へ來たのが幸ひ妾を伴れて何處へか立退て下さい、妾も親の許さぬ不義密通をして潔くないことでありますけれども、何處までもお前さんを生涯の夫と心得て居りますから阿父さんには遺書をしてお前さんと一緒に何處へでも立退いてしまひ、其內に餘炎が冷めて歸つて來てお詫をしたら又何うにかなりませうから、何うぞ此の場を伴れて脫げて下さいまし」と涙にくれておいねの願ひ

書画用 絖画絹 京染呉服商 まつや出張店 京城永樂町一 電話二一九六

防腐劑の全く入らない 日本醇良酒 廉價 卸小賣 京城新町 電話九二四 田中酒造場

齒科診療 野田齒科醫院 本町一丁目三越向 電話一〇四七番 齒科醫士 野田照治

院長 醫學士 森定吉 內科 小兒科 芙蓉醫院 京城本町二丁目瓦斯會社向側 電話二六二三番

四月十五日 九星 舊曆二月廿三日 丁亥 本命九紫 南 成 先勝

▲九紫 當て事の違れる事有り注意新事見合せ西方往吉 ▲一白 惧情のたらぬ事有り謹て新事手控ゆ事は吉 行儀作法を守るべし ▲二黑 大利の日轉居旅行入籍名弘 金件求職 探偵婚禮 ▲三碧 評判のよき日轉居 開業 名弘 金件探偵婚禮入籍茶等皆吉 ▲四綠 從業の日轉居開業皆吉 女子の心迷を顧し立身を謀る日也 ▲五黃 衰勢の日轉居行商求職金件造船名弘婚禮入籍の和を計る等萬吉 ▲六白 謹の日新事手控ゆる事は吉 衛生に注意せらるべし ▲七赤 ぐれはまの事有り新事手控ゆる事は吉 女難失物に用心の事 ▲八白 幸運の日轉居行商入學名弘金談求職就職就務築造皆吉物に勝つの日

女は何より髪かたち

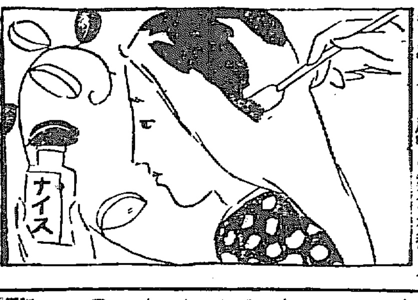
大切な髪の事 是非讀で下さい

▣髪結さんに小言 髪結さんに對する小言がありませうけれども。髪の結方にも無論上手下手があり ませうけれども。人の小言の中には何方かといふと隨分無理な場合も少くない樣です。例へば如何に髪結さんの手が冴えてゐるにしても肝腎のお客樣の髪の毛が惡かつたら何うでせう。髪が薄かつたり赤かつたり白毛まじりだつたら何うでせう何うしたつて結榮のする筈はありません。

▣髪が美くないでは…… 婦人は實際何よりも髪かたちです。其の髪かたちを結榮させるのには、根本の髪が美しくなければなりません。ですから髪毛の赤い人、薄い人、又白髪まじりの人々は先づ髪結さんに小言を御仰る前に髪の缺點を充分に補はねばなりません即ち先づ髪毛を完全な染毛劑で染めなければなりません。

▣充分に結榮する 染毛劑といつても種々あつて、惡いのを使ふと、唯な時間と手數が掛る計りで、肝腎の染色が甚な色になつたり、又は「はい染めました」といふ風に如何にも態とらしくなつたり、髪の質を惡くしたりしますから、染める以上は少々位値が高くとも完全な染毛劑として今一番信用のあるナイスを使ふに限ります。ナイスなら染めるのに何の手數もなく、僅か二十分間で、性來髪の美い人其儘の色澤に、それも唯の一遍で見事に染り、襟や枕に色のつく心配がなく、一度染めれば長い間保ちますから、染めて充分染め榮わがし髪を結つて充分結榮わがします。

▣皆さんが皆これですから今ナイスは大變な評判で、凡そ髪を染める方は必ず是でお染めになつてゐます。〇名譽の金牌受領の光榮を得たのは獨りナイスを以て嚆矢と致します。〇定價は大瓶七十錢、小瓶四十錢、新小瓶三十錢。發賣元大阪心齋橋筋丹平商會。東京室町丹平支店、全國海外の各化粧品店藥店にあり、思ひ立つが吉日ですスグ〃〃〃お試し下さい。



開業一週年記念割引賣出

謹啓時下春暖之候各位益々御清穆奉大賀候降て弊店儀開業以來日々繁榮致候は各位の賜と厚く感謝仕候就ては一週年記念として左記の通り割戻券を差上申可候間多少共御買上の程奉願上候

金貳拾錢以上御買上の方に貳拾錢毎に割戻券一枚を差上申可候

今回大阪西口石鹼製造所と特約致徳用向き徳用石鹼各種取揃へ卸小賣仕候

營業種目 一、各種石鹼 一、ハカリ香油 一、蠟燭線香

大邱富士商會製煙口付煙草香王京城一手販賣

卸商 吉尾悦太郎商店 京城本町二丁目（清香園前）電話二四八四番

各種萬年筆即時修繕 京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

南北滿洲視察團に必要なる旅行用具は高木にあり

毛布▣靴▣洋傘▣ステツキ▣魔法瓶其他旅行用具一切大勉強可仕候

京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

大日本優等清酒 ハクツル 品質純良 衛生無害 白鶴

釀造元 攝津國御影町 嘉納合名會社

發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七 振替口座四二五

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話二三七 二九

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版亞鉛凸版 最も精巧なる技術を以て最も廉價に迅速と可懇親切を旨とし御高需に可應候 京城日報社寫眞製版部

白粉中の白粉、塗けて普通のおしろいとは白さが異ふ ホーカー白粉

▣肌の生地から美しい白さに塗く外にない美容劑本位の白粉一度お試し下さい

定價一瓶七十錢 送料內地無料 本舗 東京和泉橋（振替東京一五六）堀嘉太郎商店

東京第一流の 莊司理髮店で常用して居ります

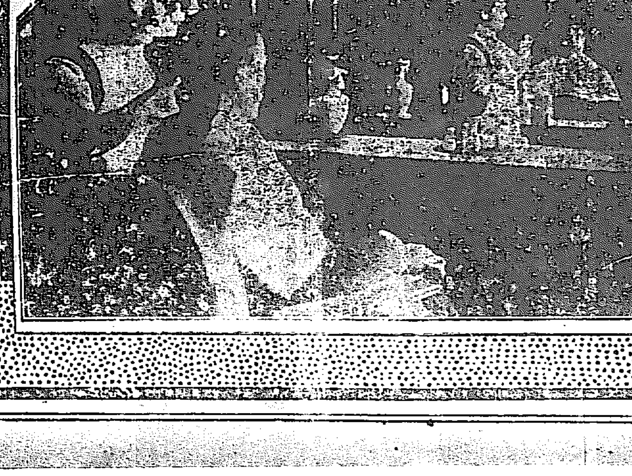
ホンノリ色白くなる レートフード

莊司理髮店主の談

お顏剃後にはレートフードほどよいものはありません。私方ではこれを專用して居りますが、どのお客樣も皆御滿足です。剃刀かぶれのせぬのは勿論、お顏の色艶をよくする上に、厭味でなくホンノリ色が白くなる具合は實に何とも申されぬ高尚な美しさで、御婦人は素より男子方の日常化粧として是非毎日御使用をお勧め致します。

本舗 東京 平尾贊平

―寫眞は莊司理髮店內部―



コレデス！コレが胃病に

一番よく効く泰昌の胃腸藥ゴルフです

ゴルフは多量のタカヂアスターゼを含む

過飲過食に卓効あり

何處の藥店にもあります

御断き入れぜひゴルフを服用せよ

一、平生胃の弱い人

二、慢性の胃腸かたる

三、其他胃腸病一切、

四、病後の養生の人

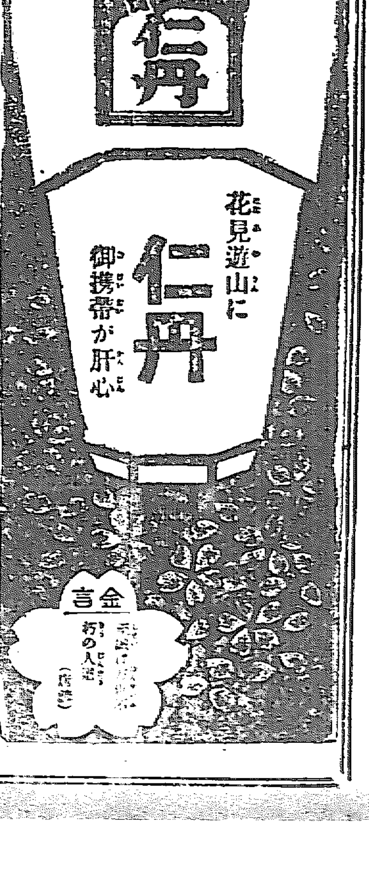
五、營養不良の人

定價 貳拾錢 四拾錢 壹圓

此廣告切拔き新聞名御記入御注文の御方は小包料は本社にて負擔す

ゴルフ

東京室町 泰昌製藥株式會社



京城日報　第三版
四月十四日（夕刊と合せて八頁）

米國の陸軍

米國大統領ウヰルソン氏は陸軍省の[illegible]軍事[illegible]強制案に賛成するの[illegible]書を公表し正規軍並に國民軍を[illegible]して戰時の員數に達せしむ可く[illegible]國民兵員中第一回の五十萬人は直ちに徵募せらるべしと云ひ追つて必要に應じ更に五十萬人の增募を行ふべしと云へり米國にては前議會を通過したる五箇年繼續の陸軍擴張案に基き今日既に所謂大陸補充軍の編成計畫を進めつゝありたるものなれば米國現在の正規軍及び國民軍が果して幾多に上れるか其の正確なる數字は判然ならずと雖も

△募兵の困難　は從來米國陸軍側の常に瞑じつゝありし處にして殊に歐洲戰爭の餘響を享けて財界一般に好景氣を示せる際とて陸軍擴張豫算こそ通過したれ實際の徵募は決して容易の業に非ざるべしと信ぜられたるが故に右陸軍擴張計畫の遂行に着手したる今日と雖も恐らく從來の兵數と大差なかるべしと推せらる即ち千九百十六年六月末現在に於ける正規軍の員數並に其の所在別を擧ぐれば左の如し

▲米本國	將校	三、六〇〇人
	下士卒	六七、四〇〇
	計	七一、〇〇〇
▲比律賓	將校	六六〇
	下士卒	一七、〇〇〇
	計	七、六六〇
▲布哇	將校	三三〇
	下士卒	八、一〇〇
	計	八、四三〇
▲パナマ	將校	二五〇
	下士卒	六、八五〇
	計	七、一〇〇

其他支那、アラスカ、ポートリコに駐在せるもの及び輸送の途中に在るものを併せ正規軍全體の將校は五千人下士卒は十萬二千人

△總兵員十萬　七千人なり而して國民軍卽ち州兵は各州を通じ十五萬一千人にして平時定員に對し四千人の不足、戰時定員に對し九萬七千人の不足なり此の內國民軍は全然各州の治安維持に使用せらる可きものなれば米本土の國防の任に當る可きものは僅に將校下士卒を通じ七萬一千人に過ぎず尤も其後の增募兵を合算すれば八萬五千に近き數には達し居らんも內三萬弱は海岸要塞兵、一萬二千は騎兵、他の四萬二三千は步兵並に砲兵にして其の實力辛じて二個師團に過ぎず而して一方情報に據れば墨國大統領は叛將ヴイラの討伐に藉口して兵を米國々境に集中しつゝありと云ひ又プレゴン將軍獨逸側の使嗾を受けて叛軍に投じたりと云ひ

△墨國の形勢　必ずしも米國の爲めに樂觀す可からざるが如くなれば米國現在の正規軍二箇師團及び騎兵聯隊の如きは之を墨國々境に備ふるの必要に迫らるゝやも計り難く旁々米國が今日直に歐洲に出兵すること或は困難ならんも曩に開戰の決議案の議せらるゝに際し『歐洲出兵を爲さゞること』なる修正案が提出せられたるにも拘はらず直に之を否決し去りたるに徵すれば米國の決意の如何を察するに足る可く五十萬の增募實現は容易ならずとするも相當の兵員充實を見たる上にて米國は多分歐洲に出兵を企畫するならんか

朝鮮葉煙草界の新計畫

ホワイトバーレー種の耕作反別並に其の見込收量‖購買數量の激增と明年の計畫‖黄色煙草の耕作反別の大擴張‖釜山大邱方面の製造事業狀况

總督府技師　岡田虎輔氏談

過般南鮮方面に出張せる總督府度支部専賣課技師岡田虎輔氏の歸來談に曰く、今回の出張は全北及び慶北に於ける葉煙草ホワイト、バーレー、忠北忠州に於ける黄色種及び大邱方面の耕作計畫に關する打合並に釜山大邱方面に於ける製造煙草の狀況視察に在り、下觀察に基く計畫の概況を紹介せんに、ホワイト、バーレー種は世人の熟知せる如く全北に在りては全州、任實兩郡に於て昨年より耕作を獎勵しつゝあるが同年は天候不良にて豫期の收量を得る能はざりし爲め本年の耕作反別擴張に對する耕作者側の

△意嚮を憂慮　せしも實地調査の結果は頗る良好にて耕作者數六百名を越へ其反別三十町步に亙り而して之が耕作乾燥の指導は前年同樣の方法に依り技術員二名を產地に駐在せしめて實地に就き詳細なる誘掖を行ふことゝし且つ苗床は各耕作者をして之れを設けしめ外に豫備苗床として耕作地各面に一個づゝ之を設置せしむ、其の坪數一箇所百七十坪にして同經費は道廳より支辨の事となり居れり、又慶北に於けるホワイト、バーレー種は永川郡を以て其の產地と定め全北同樣昨年より耕作に着手せるが此の方面に在りても耕作者の意嚮良好にて容易に

△豫定の反別　を得、目下專賣課大邱出張所より技術員を派して苗床の設備其の他の指導に努め居れり、要するに本年のホワイト、バーレー種耕作反別は以上二方面を合して約六十町步其の見込收量二萬貫の豫定なり然して本種は鮮內の製造煙草業者間に於て多大の好評を博し既に買申込數量の如き既に五萬貫に上るの狀況にて前記豫定の數量を超過すること三萬貫を算し需給の調節を得る能はざるは甚だ遺憾なるも明年度に於ては更に耕作反別の大擴張を斷行し

△希望者の滿足　を買ふ方針なり、倚ほ大邱方面の內地種に就き一言せんに同地方の內地種葉煙草は既往數年間に於ける口付紙卷煙草普及の影響を受けて漸次其の產額を減退するの傾ありしが近時總督府に於て朝鮮產葉煙草の各種見本を海外煙草業者に配付して以て販路の考究に盡せし結果、同種も漸次海外の需要を喚起し本年の如きは既に一萬五千貫內外の取引契約あり輸出の途次第に開けむとするの狀勢あるより本種の

△耕作は再燃　の傾向を呈するに至れり、又た黄色種葉煙草は頃者內外煙草業者よりの注文續出し本年に於ても既に總督府に對して多量の購買申込あり、總て當局にては耕作反別の大擴張を圖り過日來產地を實査せるに前年に比し優に二百五十町步を增加し總計六百町步の耕作反別を得るの見込確立せり、其耕作地域は北京畿江原の道境に連り南慶北の道境に達せる狀况にて

△斯業愈殷賑　ならむとす、之に反し釜山及び大邱方面に於ける煙草製造事業は京城地方の活氣橫溢せるに比し甚だ不振の狀况なるは遺憾なり、這は同地の製造業者が依然口付紙卷煙草の製造に膠着し昨今賣行良好なる兩切煙草の製造を企つるものなき爲めにして畢竟資本の薄弱なるに職由す、當業者は此の際新資本注入の途を講じて以て製造上設備の革新を計るにあらざれば時勢に適應して相當の收利を擧ぐること到底不可能なる可し

極東の交通機關

（五）黒龍江の水運

目下シルカ河は減水の期間に接するも貨物運送に支障なき程度に在り而して黒龍鐵道は工事進捗の結果目下クエンガ驛ブラゴヱシチンスク市間に一晝夜一回の汽車運轉を行ひ居れど鐵道臨時發著局の報告に依れば全線開通は千九百十七年若くは其以後なるも近時工事進捗の爲め近く一晝夜六回の運轉をなすに至るべしとジャリンダの上流は深度四呎乃至四呎四寸舟行に差支なし又ジャリンダには黒龍鐵道の支線、鐵道布設工事中使用せる倉庫あれば貨物の揚陸及び積替には何等の支障を見ざるべく倚ほ又鐵道支線は黒龍江岸チエルニャーエワに達せり是兩所共水陸接續地點なるが倚ほ之を詳說するときは黒龍鐵道黒龍江水陸接續地點は下の如し

シルカ河岸後バイカル鐵道驛スレーテンスク市、黒龍江岸黒龍鐵道支線起點ジャリンダ及びチエルニャーエ、ウオゼーヤ河岸黒龍鐵道驛アレキセーエフスク、シルカ河岸黒龍鐵道驛チアツウキンスカヤ等なり黒龍江は普通時と雖も水量極めて潤澤舟行最便なりシルカ河亦深からざるも減水時猶ほ克く舟行を保つを得べし但し四呎乃至四呎五寸の深度はジャリンダの上流にあらざれば見る能はず黒龍水運の終點はニコラエフスク市とす而して黒龍江航行期は極めて短かく其期間僅に三月半を出でず而も水路案內標設置作業の爲め往々此期間をも短縮する處あり元來海路歐亞を航海しニコラエフスク市に入らんとする諸船舶は吃水廿二又は廿四呎を有するを以て韃靼海峽を通過するを困難と認め薩哈連島東海岸を迂回するを常例とす卽ち外國船の如き多くは此海路に因るも露國義勇艦隊は常に貨物の一部を浦鹽に揚陸し十五、六呎の吃水となし以て直ちに黒龍江口に溯航し又場合に據り浦鹽入港の上同地に於て全部積荷の揚陸を終り歸路に就くと共に黒龍江行貨物は更に近海航路船に積替輸送すること[illegible]とす[illegible]に於て甚しく不便を感ずるは電信電話の設備整はざる爲め海航行の船舶が出自に水先案內の派遣若くは荷船の發送を督促し能はざることゝニコライエフスク港は前面の積廢き淺瀬の爲め船舶の碇泊に便ならず而して船舶は波止場を距る一露里若くは一露里半の沖合水深九サージエンの碇泊地に投錨せざるを得ざることとす而してニコライエフスクにては貨物は本船より荷船に積替陸上へ運送し倉庫へ納め稅關の檢査を受けて後ち又河汽船若くは荷船に轉載上流へ輸送す然るにニコライエフスク港における荷揚は江上風波數々起るを以て荷揚量のこと往々數日に亙たる不便ありとす

蠡測管詁

北京の獨逸方新聞

山縣生

北京にペキン、ポストといふ英字新聞がある。獨逸人の機關新聞として數月前創刊せられたもので、前には獨逸人が專ら經營して居たが、支那の對獨斷交の頃から、表面上デルバート、レードといふ米人の手に移された。此男は宣教師上りであるらしいが、大の獨逸贔負で、頻に獨逸を擁護し、聯合國、殊に英國に對して惡罵の文を公にして居た。感心な事には我國に對しては餘り惡口を言はなかつたが、これは蓋し獨逸の外相チムメルマンが米國に對する墨日獨同盟策を夢みて居たからであつたらう。それはとにかく、今度米國が獨逸に對して宣戰したからには、レード先生義理にも獨逸の辯護を務めることが出來なくなるであらう。如何するか見物である。

日報詩壇

○春日偶成　兒島九皐

東風吹雨養花天。竹裡雛鶯去可憐。捲盡湘簾倚欄坐。庭前楊柳綠如煙。

評曰　寫景清潤

○春日偶成　藤倉藤蔭

庭前風捲落花波。雨濕芳林鶯過樓。獨坐蕭然無一事。焚香淨几讀維摩。

評曰　悠然味長

○梅花書屋圖　木田芳洲

梅川影有仍。幽窓夜可憐。風花如雪灑。不妨書燈。

評曰　幽秀雅麗、何等才調

◎鷄林同人會第九回詠草（二）

井上通泰先生點

春月

梅薫る軒端の風のさむければ霞みもやらぬ春の夜の月　島村新左衛門

春の夜と思はれぬまで高麗の野の花に照りそふ月のさやけさ　渡部啓次郎

吹風は霞に組ゐて春の夜の月の桂も花ぐもりせり　岩本あい子

夕風になびくは雨か青柳の糸にかすめる春の夜の月　丸野[illegible]

天少女ひめてか包む羽衣の袖にくもろ春のよの月

定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾錢　[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直[illegible]
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　[illegible]

△㊤能く賣る　[illegible]六千餘石に上りたり[illegible]

△㊦能く買ふ　後場同店より買ひたる玉數五千餘石に[illegible]

獨立　實業家
銀行員
商店員
會社員
實業に志す人

一ヶ年卒業　實業講習會

總裁　大隈侯
副總裁　澁澤男

‖新會員大募集‖
只今入會の大特典
▼入會金免除　只今に限り免除す
▼水書草紙　進呈　早く字が上達する
▼獎學金提供　一等卅圓　二等十五圓

學科　△商業簿記　△銀行簿記　△商事要項　△商業英語　△商業作文　△珠算　[illegible]

實業界に出て立身出世する秘訣を悉く說明せる上今日の實業青年に最も必要なる
の第一番に知らねばならぬ學問を悉く[illegible]

大附錄　書翰文習字　毎號
一日號に添へて實業界で毎日使ふ手紙の書き方讀み方等を一々手本に就て面白く敎ゆ

■講義は分りやすく讀めば直ぐ役に立つ

◉見本　無代進呈
■ハガキか電話にて御申込次第御送りいたします
■何事にも躊躇する者は折角の好運を失ふ者なり速に見本見られよ

會費　一ヶ月五十錢　二ヶ月一圓　三ヶ月一圓四十[illegible]　六ヶ月二圓八十[illegible]　一ヶ年五圓五十[illegible]

アナタはキット
立身するにキマツて居る
アナタは毎日筆を執る度にモツト字を上手に書きたいものだとお思ひになるに違ひない、それはアナタに向上心があるからだ、向上心のある人は必ず立身出世するに定まつて居る現在の地位に安心し現在の生活に滿足して居るやうでは、アナタばかりぢやない國の損失だ、文字は其の人の手形だといはれて居る、アナタの人格はアナタのお書きになる文字に現はれて來るのです、
今一層上手になる工夫が肝腎
今が入會の絶好機會
短日月の間に書道の眞髓を會得せらるゝやう斯界の權威たる日高秩父先生が苦心の結果スグ上達するやう仕組まれたのが卽ち本會の習字速進法である論より證據唯今其の說明書を請求して一番信用あり一番會員の多い一番上達の早いワケを御實見願ひたい

大隈侯贈與の獎學メダル其他大特典提供
早稻田大學講義錄
總長　大隈侯　名譽學長　高田博士　學長　天野博士　指導

▽中學校同様の學力が得らるゝ日本一の講義錄入學既に一五萬人
早稻田　中學講義
第一號出づ
入學の好機を逸する勿れ
早稻田　商業講義
▽商業の實際に役立つ活きた講義　仕事の傍ら勉強するに都合よし
政治經濟科　法律科　文學科
何時にても入學を許す　申込み次第規則書進呈

[illegible]申込次第　會科見本附規則書[illegible]

○公債五十億弗發行可決

三十億弗は聯合國に貸付

華盛頓來電＝衆議院歳出委員會は公債五十億弗發行案を可決したり右は內二十億弗を軍事費に當て三十億弗は大統領の見込を以て聯合國に貸付る事を認容するものなり（紐育電報）

○交戰國の一日戰費

其の筋調査に依る歐洲全交戰國一日の戰費は一億六千四百九十三萬弗にして開戰以來の總額は一千百四十九億萬弗の巨額に上れり（東京電報）

○獨勃兩國の食糧暴動

獨逸及び勃國の諸都市は今や相踵ぎて食糧暴動起り民心騷然たるのみならず各所に衝突行はれ死傷者頗る多し（路透電報）

○セシル卿の臨時外相

英國外相バルフォア卿は特別なる使命を帶びて米國を訪問するに就ては同相不在中はセシル卿臨時外相の椅子に就くべしと（桑港電報）

○獨軍對英軍戰勝

但し伯林公報

伯林公報に曰く、アラス及びカムブレー間の道路上に於て獨軍は英軍に對し多大の損害を與へて之を撃退せりと主張せり（紐育電報）

□觀櫻會仰出さる

天皇皇后兩陛下には十七日午後二時三十分宮城御出門新宿御苑へ行幸啓遊ばされ內外臣僚を召され觀櫻會を催さる旨仰出されたり（東京特電）

○嚴氏御禮言上

李王職贊侍嚴柱日氏は十三日午後三時十分參內し李堈公殿下薨去の節勅使御差遣及び祭粢料御下賜に對する御禮を言上せり（東京特電）

○獨人裁判と支那

司法總長は獨逸人の被告たる場合には國家の中立領土權及び安寧に關する事件を除くの外總て和蘭領事の審問に附する旨の訓令を發せんとすと傳へらる（北京特電）

○獨船航江禁止

支那政府は船舶の獨逸國旗を掲揚し支那內陸の各江を航行する事を禁じ又獨逸水先案內人の免許を中止するの訓令を發したり（北京特電）

○王交次長參內

滯京中の支那交通次長は章支那公使同伴にて十三日午前十一時三十分參內し天皇陛下に謁見仰付られ終て便殿にて茶菓を賜はせり（東京特電）

○檢査官出張

會計檢査院檢査官　平塚定二郎

左の如く出張仰付られたり（東京特電）

朝鮮所在陸軍々隊官衙會計實地檢査として出張を命す

○群山先月經濟

三月初め米[illegible]情勢を持續したるも中旬の交に入り[illegible]面の商況再び見るべきものあり[illegible]如きも之が消化を氣構ひ成行稍硬に[illegible]に於ける北寄貝は主として國境方面（大七十八人共漁獲高三萬五千斤入千五[illegible]利の絶滅を防ぎ販路の擴張を爲すの[illegible]では四月三日午後五時頃家人は山に[illegible]も間もなく絶命せり何玉福は室外に[illegible]ありし爲め危難を免れたりと發火[illegible]

○辭令（東京特電）

第四戰隊司令官海軍少將　山路一善
免本職補第三特務艦隊司令官

朝鮮總督府鐵道局參事補　一瀨武內
同　岩崎廣太郎
任朝鮮總督府鐵道局副參事
（各通）

朝鮮總督府遞信事務官補　岩城竹治
任遞信副事務官（高等官六等）

同遞信書記　齋藤小一郎
任同遞信事務官補（高等官七等）

同遞信技手　佐々木仁
任同遞信技師（高等官七等）

朝鮮總督府郡書記　金錫和
任同郡守（高等官八等）

○鎭南浦の總督

長谷川總督は鎭南浦府廳にて官民四十餘名を接見したる後中野府尹より管內の狀況を聽取したる上各學校を巡視し十二時三和花園にて晝食を取り其より築港稅關精錬所を巡視し四時三十分平壤に向け出發せり（鎭南浦電報）

○平北經濟概況

▲金融緩急　耕作期漸く迫り當季節は毎年耕牛其の他農業資金の需要增加し金融逼迫する例なるも本年は引續き穀價高値なりし爲め一部分に耕作資金の需要ありたる外金融上依然大なる異動なく一般金貸業者は遊金に苦しみつつあり金利は下向一方にて二分五厘乃至二分迄に特に商業資金は一分五厘に低下せる地方もあり

▲貨物集散の狀況　及び物價の高低並に其の原因は農繁期に入りては出廻の暇なきこととて各市場とも閑合に賑ひ且穀物の出廻多かりき然れども一般に買惜めると殊に大豆の如き既に生產地品薄の爲め殆んど大口取引を見ず

上流地方は暖氣頓に加はり漸く解氷期に入り船の交通不能となり且つ河流は未だ開通に至らず爲めに物資の運搬困難にして市場甚だ閑散なり

▲穀價一般に軟弱の氣配にして從來割高なりし地方は米粟一圓方大小豆五十錢下落せり客年奔騰を爲したる牛價亦弱氣を呈し玆頂上なるやの感なしとせず

▲農工業其他　春耕期近付きたる爲め一般農家は堆肥運搬に從事しつつあり冬期休業せる各黑鉛鑛採掘は漸く着手せられ一般に生氣あり

▲通貨流通狀況　一時甚敷缺乏を感じたる補助貨も開後各金融組合の熱心なる努力効を奏して今や一二の地方を除くの外之が流通比較的圓滑に行はれ大なる缺乏の聲を聞かず其の他の貨幣は至極圓滑に流通しつつあり

支那貨相場漸次下落に向ひたる結果市場漸く小洋銀の流通を見に至れり

▲市街地概況　以上は主として村落地方の狀況なるが都會地たる新義州の狀況を見るに下半月に入りて東清鐵道輸送杜絶の爲め先月來漸く好況に向ひたる白米の北滿輸出に頓挫を來たし精米業者の買控と共に地方出廻り品も減少し爲めに米穀資金の方は閑散なりしも下半月に入りて鴨綠江の解氷を見ると共に人氣著しく引立ち殊に木材界の人氣益々好況にして各地より注文多く籾の取引も行はれ之等資金の供給等により稀有の貸出高增加して銀行貸出高二十餘萬圓の增加を示し逆月緩漫裡に自ら幾分の小繁を呈せり

○燈立標の燈質其他變更

總督府にては今回馬山浦掛燈立標の燈質燈高及び光達距離を變更する所ありたり之に由れば無等『アガ』式瓦斯連閃光白色、毎四秒半時を隔てゝ一秒半時間に二閃光を發し水面より燈火に至る高さ三十四呎にして光達距離は晴天の夜十一浬を照すべしと

○京畿道大豆增收

京畿道內昨年中に於ける大豆收穫高は作付反別計五十二萬五千七百五十六反に對し收穫高三十五萬二千九百五十二石にして此一反步收穫高は平均六斗七升一合の割合なり此れを前年に比較すれば反別に於て一萬三千四百八十六反收穫高に於て一萬七千五百九十一石平均一反步收穫高に於て一升六合の孰れも增加を示せり

○京畿道種苗場新設

京畿道にては今般地方費を以て高陽郡崇仁面安岩里に道種苗場を設立せりと

○鮮銀券發行高

四月一日より七日至る一週間の朝鮮銀行券發行平均高は三千八百三十三萬七千八百二十三圓なり

○間島觀光團組織

其筋斡旋の下に間島在住鮮人の京城仁川觀光團を組織し來る五月上旬頃入京の豫定なりと團員は約二三十名にして孰れも同地方の有力者のみなりと

○前田大佐來京期

警務總監部高等警察課長前田大佐は過日事務引繼ぎの要務を帶び前任地咸南警務部に赴きたるが本月二十一二日頃歸任の筈なりと

○大正親睦會の招宴

今回歸鄕したる山形少將、警官練習所長に榮轉せし松井警視並に高等警察課長に新任の前田大佐、鍾路警察署長永野警視諸氏を招待して大正親睦會長趙重應子爵其他官民有志數十名は去る十一日明月館に於て盛大なる送迎宴を催したり尙山形松井の兩氏に對し惜別の衷情を表する爲め記念銀盃を贈りたり

○視察團と趙子爵

團長に內定

本社主催南北滿洲視察團の擧あるや子爵趙重應氏は立地に贊助の意を表し參加を申込みたるが視察團幹部に於ては人格經歷より見て子爵を團長として適切なるを認め玆に推擧することに內定したるを以て子爵の承諾あり次第確定發表する筈なるが子爵は過日來病氣引籠中なりしも此程健康回復せるを以て幹部の希望に副ひて多分快諾ある事なる可し尙ほ副團長內鮮人各一名も同時に確定次第發表の運びに至る可し

○奉天鮮人倶樂部

奉天十間房在住柳泰慶氏は當地在住青年の前途を誘導し且つ大に親睦を敦からしめんとの意義の下に同氏發起人となり三崎青年倶樂部を創設する事に決したるが既に部員四十餘名に達し一般より多大に歡迎され居る由にて來る十五日午前十時より十間房深川に於て第一回會合をなし役員選擧及び諸般の打合せを爲す由（奉天）

○哈爾賓倉庫創立

哈爾賓は日本內地及び朝鮮に於ける對滿露貿易の樞要地に位し物貨の集散日に激增を示し今や倉庫業の必要は汎く識者の認むる所となりしが今回鈴木商會の鈴木定次郎氏、藤田商會の藤田政太郎氏其他有力者十名の發起にて愈々之を經營する事となり、今其の內容を聞くに資本金二十萬圓の株式組織とし一株金額拂込五十圓總數四千株の內三千株を發起人にて引受け殘一千株を公募に附する豫定にて既に哈爾賓埠頭區ボレワヤ街に總面積九百十八露坪の敷地を買收したるが內二百五十三露坪は已に建物現存せるを以て之に煉瓦建物及び危險貨物倉庫等を增築の上營業を開始すべし因に會社の創立費用は一千留にして營業開始の曉は能く哈爾賓に於ける商業組織の缺陷を補ひ對露滿貿易の助長を圖ると共に變動極まりなき哈爾賓物價の平準を保たしむるを得んか

○德富監督歸還

其餘地方漫遊中なりし本社監督德富猪一郎氏は十三日午後九時南大門驛著京城に歸還十五日本社主催の滿洲視察團一行と平壤まで同行同地視察の上更に京城に歸り一泊の上退京す可し

人事消息

▲野口多內氏（滿洲大興合名社理事）十三日夜[illegible]尾へ
▲中瀬拾太郎氏（久原社員）▲吉田初一氏（同）▲東鄕五郎氏（同）同上朝鮮ホテルへ
▲戸川錦男氏（八幡戸川病院主）十三日朝退京
▲古我貞周氏（貿易商）同上
▲山本文介氏（滿鐵々道病院長）同上
▲竹村昌計氏（咸興地方法院判事）同上
▲田野碧氏（貿易商）十三日夜退京
▲乾政彦氏（法學博士）同上
▲森重氏（辯護士）同上
▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦商業會議所會頭）十四日夜入京浦尾へ投宿の筈

支那遍歷　中島生

大冶に到る

東洋の市俄古たる漢口に告別して、二十二日午前七時、日本租界三菱碼頭より會社の汽艇にて漢陽に向ひ、大冶行の汽船を捉ね申候。普通なりせば、夜の定期船にて行くべきなれど、三菱の市吉氏の周旋にて、漢陽鐵廠の運鑛用小汽船に便乘することを得たる也。船は九時に發して長江を下る。同船の客に大冶鐵鑛所の會計課長にて沈といふ青年紳士あり。英佛に遊學したりし由にて、英語をよく語り、携ふる所の冷肉果物などを出して頻りに勸む。如才なき支那紳士振りに接し申候。午後五時石灰窰といふ所に著き上陸す。此處は長江上の一港たる黃石港の少し下流に位し、鐵鑛運搬の爲めに設備せられたる所也。三菱の大冶出張員杉山三五郎氏に迎へられ、例の有名なる大冶王西澤公雄氏の公館に入る。西澤氏は、我が製鐵所より派遣せられ、大冶に在る十有八年、大冶鐵山と日本との關係を今日あらしめたる殊勳者なるは、皆人の知る所。同氏恰かも日本に赴きて不在、親しく其の謦咳に接するを得ざるは殘念至極なれども、留守居役の小野虎雄氏と杉山氏の接待にて、倶樂部に遠慮なく宿泊することを許され申候。此夜小野氏が主人役にて日本料理を饗應せられ、舌鼓を鳴らし候。鰣魚といふ長江特產魚の刺身が美味に感じ候。李白が『桃花流水鰣魚肥』と詠じたる西塞山は今眼前に在り、此山に對し、此魚を喰ふ、感興何ぞ堪へんや。大冶に來れば、春色酣にして、西澤邸內の櫻花滿開なり。芳野櫻を移し栽ゑたるなりと云ふ。洋館二階の日本室に夢を結ばんとすれば蛙聲頻りに聞え、鄕思を喚かす。

大鐵山を見る

鳥聲枕頭に近く、覺むれば二十三日の陽光は江水を照らせり。大冶の鐵山を視る日也。小生等の爲めに、大冶鐵道の機關車が一輛の客車を牽いて、西澤公館の前に來り迎ふ。之に乘りて午前九時發す。大冶鐵道と云ふも、延長は二十一哩に過ぎず。江畔より山地に進む沿線の風色は甚だ掬す可きものあり、桃梨の花は相映發し、菜花の中に竹篁あり、潺水の隈には水牛群れ遊ぶ。長江岸の春色は殆ど此地に於て爛熟せるの觀あり。午前十一時鐵山に著す。石灰窰より案內の勞を執られたる製鐵所員小野隆一氏に從うて、先づ雄獅子山を見る。大冶の鐵山は雄獅子山と鐵山とに別たる。雄山にはインクラインの設備あり。我等はトロに乘りて、更らに山腹に引き上げられたり。只見る、全山悉く是れ一大鐵露頭にして、採鑛の作業と云ふも、簡單なる手掘り、露天掘りのみ。此れ丈けにても、大冶鐵山の價値は推知せらるべし●雌山は雄山より稍々小なるも、そは只だ比較の問題のみ、その偉大なるに於ては絶對なりと云ふを妨げず。聞くが如くんば大冶の鐵鑛は其廣袤、約そ二百平方哩に亙ると云ふ。露頭七所あり、之れのみにて優に一億噸を產すべしと。他は推して知るべきのみ。年々四十萬噸を漢陽に、三十五萬噸を若松に供給する故、先づ七十五萬噸の年產額なり。然かも作業を擴張せば、多々益々產すべきは勿論也。一通り見物したる後鐵山事務所にて支那料理で盛饗の馳走を受け、午後一時再び車行、三時歸著す。

此夜漢冶萍公司の大冶鐵鑛坐辦なる季厚堃氏より招かれて、晩餐の饗を受く。我等三人を客として、小野虎雄氏及び杉山氏も陪賓たり。支那側は季氏主人にて其他二三の士あり。盛なる御馳走にして、主人の季翁が款待振りは、實に心胸を披瀝して、寸毫もお世辭的の所なく、乾杯を慫慂するは、事面倒なりと、拳を挑んで一氣に三杯を干さしめずんばあらず。果ては主客入亂れての歌舞を演んずるといふ騷ぎにて、支那唄は礦師と相踵ぐ始末なり。小野氏小生に告げて曰く、是れ所謂大冶式なり。兎に角支人が、これまでに胸襟を開いて交歡する所は、單り大冶あるのみ。これも全く西澤氏の力の致す所なりと、小生大に之を了解す。宴果てゝ一應公館に歸り、更に小席を設けて夜半に至るまで興の限りを盡したる後、送られて江岸より汽艇に乘り、三哩上流の黃石港に至り、民船の間に假泊して日清汽船鳳陽丸の來るを待つ。夜色沈々として江上風冷かに、水聲は直ちに假睡の夢に入る。二十四日の午前三時頃に至り、鳳陽丸來る、直ちに之に移りて、電燈煌々たる船室に臥す。

■南言北語■

先月十三日の紐育タイムスに一頁大の廣告が出て居る▲何だろうと見ると『紐育市民に告ぐ』と云ふのだ▲此の廣告主は紐育市長の任命した十六名の國防委員が名を並べて居る▲文句には今度米國が名譽と權利の爲に獨逸と開戰する時が來るかも知れぬ▲だから今日直ちに米國政府に對して絶對無條件に忠節を盡すと云ふ宣言をせよと云ふのである▲而して其の宣言はウヰルソン大統領に當てたもので文句の雛形迄も廣告の中に示してあるそれに贊成した人名が二百人餘りも列記してあるが▲內にはシッフとかセリグマンとかシユワルツレルとか云ふ樣に獨逸流の名前も澤山列んで居るから面白い▲殊に國家の就去を決する場合に各個人が改めて忠節を誓ふ處は何うしても米國式である▲陸軍技術審査部長の島川文八郎將軍は淡泊で人望の高い人であるが却々奇行に富んで居る▲將軍の酒好きな事は毎日東京牛込河田町の自邸に歸る途中出入の酒屋の前を素通りする丈けの我慢が出來ぬ程だ▲何時も將軍の溜らなくなつて酒屋に飛び込み店先に立つたまゝ桝の隅からキューッとやる▲處へ通りかゝつて挨拶でも仕やうものなら何とも云はず右手の桝を差上げて頭を下げる▲其の恰好たるや正に天下一品だとは愉快な人だ▲又た將軍が先達非常に腹痛のした時醫師へ行つた▲久しく待たされるのが馬鹿々々しくて近所の知人を訪ねると酒になつた▲初めは將軍腹を押へて痛みをこらへながらグイグイやつて居た▲其の內何時の間にか腹はスツカリ快つて『君酒位腹痛に利くものはないね』はよかつた

蘇峰學人著　兩京去留誌
平福百穗、山下均、鶴田吾郎、柳田謙吉、前川千帆（五氏畫）
四六版總クロース　繪畫寫眞三十二葉　定價壹圓五拾錢　郵稅十二錢

著者の東京、京城間を往來する其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈々新鮮にして、其の秀麗の觀察と獨特の筆鋒を揮つて、兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し、人物躍如たるもの、固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し、或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字眞精流露し、而も簡淨疎宕の小品の妙を極む。特に『雲甃集を讀む』の一文は、朝鮮の面目を金元楠子の人物と文藻を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要諦』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して、萬丈の光焔を揭ぐ。加之、平福百穗氏を初め、諸畫伯の挿畫は、皆實境に臨んで描く所『咄々眞に逼るの妙あり。』讀者清雅高尙にして、座右或は旅行等の好伴侶として、最も讃賞に堪ふ近時の好著述たり

賣捌所　京城日報代理部　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番
賣捌所　京城日報社各地支局

理學博士宮部金吾君閲　農學士三浦道哉君著
りんごの病氣
菊判洋裝特製全一冊　正價金壹圓也　小包料金十二錢也

最新刊
著者多年苹果の病害に就きて苦心を出でゝより專ら苹果の病害に就きて苦慮すること多年以て得たる幾多の實驗と氏の獨創的研究とを披瀝して成れる本書は苟も苹果の病害に關する事項は其大小を論せず語り精確にして新內容豐富を極む加ふるに斯界の泰斗たる宮部博士が親しく校閲の勞をとられたれば如何に本書の完備せるかを知るべし園藝家は勿論斯學に志ある士に必要缺くべからざる唯一の好書たり

發兌　東京日本橋區十軒店　裳華房　振替東京　電話本局

陸軍拂下品　襦袢。袴下。手套　其他各種
並に諸官衙拂下品多數有之御用命願上候
京城府漢江通　電話長三三六　佐藤古着店

金剛飴と栗羊羹
京城本町　電話二十七番　四七五番　龜屋商店

顧問文學博士佐々醒雪先生、笹川臨風先生、渡邊霞亭先生外五十名士
第二期　人情本及世話小說刊行會　會員募集
人情本及世話小說中の傑作百餘種此卷數約七百冊を全廿四冊に收め毎月僅一圓廿錢の會費で口繪挿繪百個入四百頁艷麗無比總入美本を毎月一冊宛配布會期二年間
見本進呈　〆切四月三十日　會員千名限謝絶　第一回配本四月　今端書申込あれ
歡迎如何入會希望者少　東京淺草馬道六ノ一　人情本刊行會

滿洲視察團と旅行用『魔法瓶』
京城本町二丁目　熊平支店　電話長二二四番　振替京城六二二番

鑛山用測量器械　京城本町　[illegible]

資本金參百萬圓
明治三十六年八月十三日設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社　漢城銀行
長　男爵　李允用
專務取締役　韓相龍
電話　二六四六番　二三九番　振替京城一八六二番
支店所在地　水原、平壤、大田、開城
出張所所在地　南大門、鍾路、東幕

露都革命實見記 —五—

▽一塊の黒パンが生命の親 ▽丹波君決死隊の糧食買

露都ヅナアメンスカヤホテルにて 小田柳翠手記

○三月十三日（火曜日）

◇戰闘が稍小止みとなつたかと思ふ間もなく前のニコライスキー停車場にはさつと火の手が立ち昇り、二階三階の大窓や中央の大時計塔からは黒煙渦巻き紅蓮の焔は物凄い許りに廣場を焦がし盡いてセウエルナーヤホテル燒打の噂さへ傳つた、ホテルと此の驛とは廣場を隔てゝ相對立してゐる、此の有樣を目撃し、此の飛報を耳にしたホテルの籠城組は急に怖氣を懷き出し戰闘の小止みを幸ひ他の安全地域に避難するこそ萬全の策なれと、協議忽ち一決し重要書類のみを懷中してそのまゝ横町なる邦人宮石氏の下宿に避難する事となつた

◇然し提君の提言は であろ、僕は支那第一次革命の時漢口にありて共に革命派の實驗をなめず、斯かる戰亂に際しては須からく從容迫らず愼重事に處するを必要なれ昨夕來の空腹と不眠不休の心勞とは國民を補ふ何ものも得ざれば、無事に避難所迄逃げ延びる事は不可能なり、食堂既に食料品一物もなしとせば予は何等かの方法を以て食糧を得べく試みむ、然る後避難するも敢て遲からずと斯くにして彼は一塊の黒パンを手にし得々として入り來つた、これは隣室の露人が萬一に備へん爲め虎の子の如く前日來より仕舞ひ居りたる糧食を、是非と願つて分配を受けたのであつた、實に人の生命の綱となつたのである

◇斯うしてセウエルナーヤの籠城組は身を以て旅舘を抜け出で宮石氏の宅に避難し去つた他の旅客も荷物を手にして避難の準備に忙しい、自分は一先づ自分の宿に歸つたが本朝の激戰の爲めか四階五階は二百餘りの銃彈を受け窓硝子の多くは破壊されて見るも無慘の狀態である。

◇自分のホテルには邦人の客が六名投宿してゐる 即ち大藏省書記官今村氏、同顧問石川氏、滿鐵社員川島氏、拓殖家上原氏、綏遠大和商會理事丹波氏と倫敦への途中寄りし自分である、然るに本朝の戰闘で今村氏、石川氏、丹波氏等の室は何れも廣場に面してゐた爲め彈丸の見舞を受け危険一方でない、それで同宿の邦人一同は旅館の上比較的安全な自分の室に集まつた、時計は午後四時を廻つたが食糧品を得べき途は依然ない

◇此の時大使舘に救ひを求めんとすれど道は遠く舘の邊は不通加之市內のレストランや食料品店は皆閉店し居るのみならず所詮外出は不可能であるその上僕餓は益々迫り誰の顏にも生色がない、此時軍隊教育を受けた元氣な丹波君は勇然立つて机を叩きつゝ『予は死を決して糧食の徴發に出掛けむ誓つて諸君に餓死はさせじ』と健氣にも外套も著けず飛び出した、耳をすませば市街戰は再び猛烈を加へ自分の向側の露人の室に一流彈が飛び込んで年若き婦人は悲鳴を擧げて救を求めつゝある險悪々々それにつけても丹波君の安否やいかに！

◇二時間ばかり經つて丹波君は無事歸つて來た、彼は無理に露人の店に押入り一塊の黒パンに三留を投じ辛うじて彈雨の下を潜りつゝ今飛んで歸つたのである、其時一同は異口同音『助かつた』と歡喜の聲を發した、丹波君の勞や多とすべしそこで六人の大男は藥の如くそれを噛りつゝ漸やく飢を免れ得た、此夜は安全な自分の室を籠城團の寢室とし床に毛布を敷き不安の一夜を過ごした、屋外は矢張り時折ポン〳〵と銃聲が聴を破つてゐる、ネヴスキー署とニコライスキー驛との火焔は彌が上にも露都の空を焦がしつゝ淒慘の光景は益々加はる

× × × × ×

○三月十四日（水曜日）

◇今朝も未だ食料品なし、ボーイを背かせて漸く牛乳一杯づゝと煎餅の如き半切の黒パンに有付いた、革命軍は愈々大勝利を博し、赤旗を立てた自動車は何十臺となく大學生と兵士とを乗せて右往左往している、何れもいかめしく拳銃と銃劍を持し抜刀の閃めきは物々しい、時々小銃の音が聞ゆるが昨日に比し漸く平穩である、號々革命派の機關新聞は盛行せられ群集の中にふりまかれて居る。

◇セウエルナーヤ組の其後の行動如何にと同ホテルに提君を訪ふ、折柄彼等は昨夕二皿のスープも五人です昨夜の避難所から歸つた許りである、折り椅子にもたれて頗る不安の夢を結び本朝比較的平靜に歸した爲め鳥渡旅舘の樣子を見に來たと云つた

◇唯見れば市內の群集は夥しく通行者又繁くなつた、何れも革命の赤布を胸や腕に付けて赤旗の自動車や軍隊が通る毎にウラ〳〵は各方面に起つてゐる思ふに世界最大帝國たる露國の大革命は一夜の裡に雜作なく遂行せられ一般國民に迎合せる爲めであらう、今夕より旅舘の食堂は開かれたが併しまだ口腹に滿足を與ふる程に供給せない而し飢ゑる心配はない明日からは外出も危険あるまい

●儆新學校生徒同盟休校

外國人の經營に係る蓮洞儆新學校生徒百三十名は十二日突然同盟休校を爲すに至れり其動機に就ては目下取調中にして未だ發表の期に至らざるも十一日迄は平日と何等の異狀なく授業を受け授業の終了したる後生徒總代は同盟休校に就ての理由書を提出して十二日よりは休校すべきを告げ引揚げたるが十二日に至り彼等は果して休校し十三日も同樣休校して寄宿舍に集合し何事か協議を凝し居れるが彼等は學校に對して要求する處ありて之が處決を待ちつゝある模樣なり右に就き京城府學務係にては十二日午後校長クレピン氏及び其他の職員を請じて取調ぶる處あり同校に於ては目下善後策に付講究中なり

●岐阜各務原間長距離飛行

陸軍航空隊第五期操縱將校卒業長距離飛行は所澤岐阜縣各務原間往復四百五十哩に決定し來る十七日頃より行はる（東京特電）

●護謨工場燒く

十三日朝大阪府下本庄護謨會社より出火し同社綿布工場外五棟燒失せり（大阪特電）

●貨車齒止に衝突し破壊

十三日未明山陰線濱阪驛に於て貨車齒止めに衝突脫線し機關車一輛貨車二輛破壊せり（大阪特電）

●若い女房の毒藥自殺

釜山西町四丁目五十六番地の四號民籔次女岡田すみ（二〇）は十二日夜十一時半劇藥ストリキニーネを服用して自殺を遂げたり抑もすみが自殺するに至りし原因は去る二月釜山本町一丁目小泉時計店に嫁付たるに舅との折合面白からず常に家庭に風波絶えざりしが二三日前より實家岡田方に返され居たりしに自殺せし當日媒酌

●大繁昌の動物園

▽珍獸ハイイナが來た ▽日曜の午後は音樂隊

此の頃の陽氣に李王職の動植物園は大繁昌で、毎日二千餘人のお客が非常に持つて遊覽に來る

▽動物園 は先般の四ツ眼鹿などのお次ぎにまた〳〵印度の『ハイイナ』といふ獸まで新らしい顏を見せ殊に魚の鰭のやうに頭から尻尾までの毛が珍らしい、また先日江原道で捕獲された冷羊から黄海道で捕つた深山の丹頂鶴なども人氣を呼びおまけに

▽植物園 は蜂がうなる程どの花日和、櫻は廿日過ぎ頃から開きかけるとのこと、それにまた四月十五日から六月卅日までは日曜大祭日に限り毎日午後一時から同四時まで李王職音樂隊の奏樂を爲し、見物の人の興を添へるとの事春はいよ〳〵濃やかになつて行く野に山に動物園に行樂の場所はいよ〳〵多くなつた

●六書研究會

島村節義氏は昨秋總督府官吏退官後永樂町二丁目八番地に六書研究會を組織し同好の士と共に廣く斯道の研究に從事せんとする計畫なるが同氏は日下部鳴鶴翁の門人にして書法閲熟の域に達し殊に秦漢時代以降の金石碑碣法帖に通じ地方有志者に對しては通信の方法に依り傳授の需に應ずべしと

●金物組合運動會

京城金物組合にては十五日午前九時より奬忠壇に組合員春季運動會を催すべし

●篠田事務官の不幸

篠田平安南道第一部長三男晴夫（二）十三

玉子の召使お初　玉千代の中老尾上　吉三の局岩藤

■壽座の鎚山

人が離緣話に來りたるを窓にて聞き悲觀の餘り女心の一途に思ひ詰めたる結果斯くの始末に及びたるなりと（釜山特電）

●日本刀にて女二人

十三日香川縣仲多度郡中笠井村字香西德田七兵衛の長男きよ（三）中見米吉の母たき（三）は未練男多々良淸太郎（三）の爲に日本刀にて慘殺せられたり（大阪特電）

●電線犯人處刑

大阪市內及び郡部に於て大仕掛に電信線を切斷窃取し通信機關に大障害を與へたる犯人は十三日判決の言渡ありたるが吉原藤吉は懲役十年にて其他八名は重刑に處せらる（大阪特電）

●無門會四月例會

無門會四月例會を十四日午後四時より京城商業會議所樓上に開催し役員瑞巖老師

●北寄貝漁獲增加

咸北道…つゝあり て昨年は從漁船三十五隻漁…すべきを以て適當の方法を講ずると共に漁獲物の製造法を改善し…

日午前七時死去午後四時假葬儀を行ふ（平壤特電）

●丹羽鐵道青年會理事

朝鮮鐵道青年會理事丹羽淸次郎氏は今回來鮮京城に於て開會する同會鐵道青年會創立四十年紀念會に出席の爲めに來月上旬渡鮮の筈尚ほ內地鐵道青年會理事谷治政助氏及び滿鐵會社理事部主人大塚素氏も招待を受けて出席の筈同會には凡千三百人の各鐵道青年會の代表者出席すべしと云へば盛大なる會合ならん因みに朝鮮鐵道局は丹羽氏に鐵道現業員慰問救導に關する事業の調査視察を囑託すべしと

◆舞臺裏から

▽—壽座の藝妓芝居にて—

回樂屋見物 を出掛けた方『君、藝者芝居なんてものは、一體間振り面をして正面から贔負張つて拜見に及ぶもんぢやないよ、出鱈目の範圍を犯さない程度に於いてが利口らしいぜ』と言ひながら若い演藝記者は『今、鎚山の長局が開いて、尾上に絡んで、お初が活てる舞臺を睨んでは、スケッチ、ブックに向つて鉛筆を舐めてゐた、青年書家のアイを促がしてザラ〳〵する樂屋へ行つて見た、樂屋の入口には紅屋、しづや、などと書いた札が貼つてある、部屋々々を覗いて見ると半裸體になつて、白粉をベタ〳〵塗つてる者、砥粉で赤面を作つてる者、湯上りのポツと上氣した顏を牡丹刷毛で叩いてる者、肌著の前を擴げながら曲線美を發揮してる者重々しい

回局の衣裳 を著けて、苦しさうに羽二重を卷きつけてる者千差萬別で白粉の香がムツとする、遊族の大將、マツタ大食會の女會長、お加代が髮下地のまゝ『今、食會を開いてるところ―』と若い妓たちと春り仁壽司を頬張つてる尾上に扮したしづ家の玉千代は帝ツぽい襠襠を引掛けて

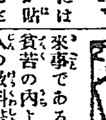
回髮をつけ ながら苦しい苦しいと言ふ、すると何處からか『皆舞臺に出る時には仁丹を持つて行くといゝ』と半疊を入る姐さん株の政利が春りに世話を燒てる、二チョーが這入つて幕が開くと尾上は行つて終ふ、丸家の玉子のお初は舞臺の出口へ來て鶴之助（振付の役者）を捉へて『お師匠さん、何方から出るんでせう』と迷つてる

回出端に危 なく笑はうとして『笑つちや可けへんせ』などと叱られる、文箱を持たお初の引込みなんかに『いよう御初ウ』と大向ふから聲がかゝる、が樂屋へ戻ると手島主稅に扮した紅家の光枝が金ピカの衣を著けながら長い大小を差して『刀が抜けない、どうして拔くの、拔けないわ』と鶴之助を引張る『こないするのやがな』と鶴之助が

回腰を落し て拔く眞似をして見せる『ヘー、大きに』と言ひながら居合拔のやうな恰好で長刀を拔いては狹い部屋中を振り廻す、對面の五郎のやうな拵らへの若衆姿が莫迦に元氣がいゝ、勇幸の求女と連立つて烏渡出て歸つてくると間もなく舞臺の濟んだ尾上の玉千代が歸つて來る、玉子のお初がハア〳〵息を切らして

回歸つて來 ると之れに續いて『よく出來たよく出來た』と皆がぞろ〳〵樂屋に流れ込んで來る、狹い部屋はます〳〵狹くなつて蒸し返されるやうだ、こんな事をしてゐる內、次ぎの場の奥庭の舞臺の拵らへにかゝると見ゑて舞臺の方から

回金槌の音 が聞ゑて來る『皆さん扇屋の支度にかゝつて下さい』と觸れて來た（十三日夜壽座の樂屋にて）



▲此の頃或る學校で惡いことではあるが如何にも憐れな話があつた▲それは小學校以上の學校での出來事である▲或る貧家の生徒が親の貧苦の內より金を貰ふに忍び兼て友人の教科書二冊を窃取した▲所がその被害の生徒が承知せず教員に訴へ出たので表沙汰となり到頭犯罪の生徒は警察署に突出された▲惡い事を爲てまで修學しやうとするのは學問に熱心の樣だが實は大なる心得違である▲そんな事を爲て學問した智識よりも潤淨なる無智の方が幾何尊いか分らぬがかゝる事に對しては他の犯罪とは違ふから情ある取扱がほしいものだ▲毎度權藤李王職事務官の馬ばなしが出るが先日水原牧場の一件を傳へ聞いた或る一人が一日權藤さんのところへ行くと是れを見て呉れと次のやうな詩を示した▲それは『驟馬高嘶意氣雄、驪蹄花影趁東風、題詩行盡廿餘里、人在春風駘蕩中』と▲なる程ど此の詩で見ると銀鞍白馬公子行そのまゝの調子である▲がわれ〳〵知章派の者には彼是と評する權利はないが此詩と實地の乘りぶりとに就ては其者の間に公平な評が出でゐろうから紹介に止めて置く

京日案內

普通 一回五十錢 番外 一回一圓

▲申込後中止の節は料金返戾せず ▲六圓以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信料添付にあらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

▲古本と古樂器店は本町ウツボヤ 電話有

◎男店員十六七歲より廿五歲迄數名入用希望者は至急來談あれ 新龍山三角池 金物用達島田商店

◎金銀細工職人二名入用 京城高木商店 968

◎店員二十歲より三十歲迄のもの一名入用但し簿記係 南大門驛前友田運送店 電話一二八二 958

▼▼古本回古樂器回買受と立替 電二五三七 本町ウツボヤ書店 964

◎犬猫に傳て注射し置けば狂犬病に罹らぬ○犬猫往診需應電話取次 壽座前 京城狂犬病豫防注射所

◎有給外交員數名採用す希望者履歷携帶本人來談あれ 京城花園町二二番地 中央金物新報社

◎金融 官吏及商人の方大小共極秘迅速貸出し來談又は參上 壽町一丁目通り山田醫院入る角 967

◎店員入用 年齡二十歲位のもの雇入る希望者本人來談あれ 京城本町三丁目 マツヤ阿部藥房 966

◎七十八聯隊門前第六十號館山方面にて遺失仕候御拾得の方は御一報候 京城本町大阪毎日支局

◎湯屋貸度 所在堅志洞 黄金町 東京建物株式會社 電話一六八二番 947

□店員入用 十六歲より二十歲まで 新龍山電車終點前雜貨店 935

▲嫁入道具製造 たんす家具一式……京城本町四丁目 津村簞笥店 電二六七〇番 751

◎看護婦二名至急入用 履歷書携帶來談あれ 仁川 小倉病院 希望の者は 941

◎自轉車月賦販賣に應ず 京城黄金町二丁目角 イヌラキ商店 電二九二七 797

番外

多利 ゴム風船實月サック卸商 小賣は三倍以上五倍利す ○當店特色は薄利多賣定價表無料送 京城太平通二 電話二六〇六番 太陽商會 766

新古ミシン賣買 並に修繕 ●針油部分品販賣 京城鍾路二ノ三 公園近 電二三八三 ムコダ 楠商店 961

◎礦物定量分拆 太平町二丁目 電話長二一三四四 朝鮮公論社 左横小路 坂元分拆所 960

恩給年金 低利 最長期 即時立替 並金鑵 短期保險不要確實融通 京城永樂町一丁目 商品陳列館前下角 江州屋 本店 781

恩給年金立替 利子安 即時取引 短期無保險 京城若草町一七 電話三三九一番 國江商會 903

店員 十七八歲の者二名入用希望の方は來談有度し但し市內に確實なる保證人を要す 永樂町二 播本商店 電話一一〇 948

りん病特効新藥 ‖化學的製劑エフエクチン‖ ◎急性淋病、慢性淋病、消渴、 ◎ハガキで申込め說明書無料進呈 ◎試藥提供 切手卅錢送附せよ効力實示の爲め本新藥十錠送藥す 東京府下大崎町 東京藥化學研究所

子宮病血の道と神痛湯 リウマチスに悩む人は

彼れ是と迷ふ無く

本劑は せんきリウマチス神經痛と 子宮血の道ヒステリー及 慢性胃腸下 能く効を奏す

最も能く効く良藥神痛湯を試みよ現に百方手を盡くも効なき難症の血の道や多年不治のヒステリーや、多年難治の子宮病を始め年來の頑固な神經痛の方々が神痛湯の連服で快方に赴き遂にはスツカリ快癒し居る實例多數一般の御參考に供す

◎こんな徴候のある方は 胸、頭、手、足、背、腰、膝、睾丸等つり痛み、しびれ又は移動し筋張り痛み何處となく彼處此處と差込み痛む、惡寒、眩暈、耳鳴、頭重く肩こり、便秘又は下痢、食進まず又は進過ぎ、足冷え夜眠られず、腹に力なく腰、根氣薄らぎ記憶衰へ、しく氣鬱、一物に感じ易く、頭手足の痛み、子宮病血の道及び神經痛、リウマチス神經痛に悩む人は片時も早く神痛湯を試みよ 全國各藥店にあり

本舖 名古屋市東區京町三丁目 藥種問屋 荒川長太郎

目ニ見ヘテ ズンズン キク ジユマズ イタマヌ 井上博士 ロート目藥

眼病を、不潔い布や指頭で擦るのは目の爲に惡いからロート目藥には消毒した布と、下圖の樣な新案の點眼器を添えてある 各藥店にあり 本舖 東京 大阪 山田安民藥房

最新刊

書名 著者 定價

大正六年一月現在職員錄 總督府編 五五

鐵筋混凝土之設計及施工法 四、五〇

英國研究 一、〇〇

死の醫に 德富健次郎 一、八〇

金相學 三、〇〇

草書新辭典 一、二〇

採卵養鷄 七〇

ルソオ斷腸錄 一、二〇

一家理想の主人 八〇

貧之物語 河上肇 九五

禪のはらわた 菅原時保 八〇

野 佐藤紅綠 一、〇〇

小說生別死別 五〇

お伽花見車 巖谷小波 一、〇〇

最新英語商業書簡文 六五

受驗必攜朝鮮六法要論 安達大壽計 四〇

同朝鮮行政法規大意 各 四〇

同會話譯文速成 同 四〇

同作文軌範 同 四〇

同法律問答 同 四〇

京城本町一 大阪屋號書店

印入專 伴天門 京城南大門通三丁目 若宮染工場

胃腸最新藥 ヂゲスチン 日本歐米十三ヶ國專賣特許 胃腸疾患、食慾不進、重病後の恢復期、營養補給の目的にて胸の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる 常用すれば血液を増し精力を盛んにす ◎說明書送呈 東京本町 藥種問屋 合資會社 圓城商店

ダリヤカンナ カタログ無代進呈 京城西大門外竹添町三丁目 東京 千草園分園

大正六年四月十四日（土曜日）　京城日報　（第三種郵便物認可）　第三千四百三十九號

怒濤の月

百三十五　小林蹴月作　武内桂舟畫

根くらべ『廿六』の五

絹代は思ひ切つて膝を進めた。とは云へ、若し男爵から、その手首を掴へて、引寄せられでも爲たらば、什うせうかと云ふ恐怖の心がないでもなかつた。

『御前様、情願お一語でも宜う御座いますからお明し遊ばして下さい。』

『うむ、絹代、能く言ふた。では明して聞かせるがの、乃公が今お前に言ふた「根くらべ」と云ふのは、お前と乃公との辛抱比べの事ぢやよ。此處へ今――假りにぢやね、お前の戀の標的となつて居る倉橋とやらを連れて來たと爲たらば、お前はそれでも、絶對に此の世の中を見捨てゝ、心に墨染の法衣を纏つて居る事ぢやからと云ふて、彼方を向いて、ちんと行ひ澄まして居る丈の辛抱が出來ると思ふか?。』

『そりや、御前様、妾とても一旦決心致しましたからには、假令倉橋の阿兄さんが、眼前へお在でゝ、何と仰有らうとも……。』

『一瞬に時ならぬ鼓動も起さず、脈搏の度も狂はさずに、立派に辛抱が出來ると言ふんぢやのッ』

男爵の語氣には、一句より一句と強い力が籠つた。

『……はい、乾度辛抱が出來ますで御座います。で御座いません事には第一御前様の御親切を無に致して、何も彼もお斷りを申上げた妾の義理が立ちませんので御座いますから……。』

『何様、然うなうては叶はん筈ぢやて。して見るとお前も矢張人間の道と義理とは承知しとると見ゆるの。それでぢやの、絹代、物の序ぢやから、乃公はいま一應お前に念を押しときたいんぢやが――勿論是も假定の問題ぢやがの、――その幸三郎とやらが、今此の庭へ現はれて來て、何者かの爲めに散々な殘酷な目に遭はされてると爲たらば、それでもお前は、幸三郎の味方となつて、助けてやらうと云ふ意志も起さずに、隣り屋敷の犬の喧嘩を睨むやうな心持で居れるかの?。』

『……………。』

絹代も稍返答に行詰つたのである。男爵の言はれるやうな事が、果して有る事か無い事かは知らねが、若し有つたと爲たらば、何ぼ世捨人の心を取り澄まして居たかと云つて、彼方を向いて知らん顔で濟まさるべき筈でない事は分りきつて居るのである。然し、此の場合絹代としては、飽くまで堅固なる決心を以て『乾度辛抱致します』と答へるより外はなかつた。

『……氣の毒とは思ひましても、それは只見も知らぬお方……御他人のお方に對する氣の毒さ、同様の心持で、身に相應しい丈の救ひの途を取るまでの事と存じられます。』

『必ず、それに違ひはないか絹代』

『必ず／＼、御前様を詐はり申すやうな事は、御佛の前に誓つて御座いません。』

『左様か、それでこそ乃公もお前と「根くらべ」の爲甲斐があると云ふもんぢやて。其處でぢやの、絹代、若しもその誓ひの語に間違ひのあつた節には、お前、その時の乃公への償ひは何と爲る氣ぢやの。』

男爵は、斯う言ひながら、今までに倍する熱心の眼を輝らせ、開き直るやうに例の關羽髯をぐいと扱き下して、絹代が最後の返答を待ちかまへられたのである。

『誓つて間違ひのあらう筈は御座いませんが……それでも萬々一、妾の行状に就いて、曖昧りのありました場合には……御前様、妾の一命をお斷ち下さいましても、毛頭お怨みは申しませんで御座います。』

『は、は、は、絹代、莫迦な事を言ふちや不可よ。他人の自殺を幇助してさへも法律上の大罪となるんぢや乃公ともあらう者が、お前の命を取つて何の役に立つ?その時こそお前は、此の直則の命に從ふべき誓約を爲なさい。』

初めて男爵の結論の山が見えたのである。根くらべと云ひ、辛抱くらべと云つて、禪學の謎見たやうな不徹底な皮肉らしい事のみを言つて居られたのも、歸着する所は即ち、此の最後の誓約を絹代の口から吐かしめやう爲めの前提なのであつた。

『御前様、左様なお誓ひは致しませんでも……。』

『いや、それは赦さん。お前さへ堅固の決心で押通すが出來れば、萬が一間違うた時の誓約を爲といたからとて、毫しも差支へはない筈である。』

『では……致しますで御座いま……す。』

絹代は、到頭男爵の遠廻しなる謀略の壺に嵌つて了つた。

花柳病 皮膚病　須古醫院　京城府永樂町一（商品陳列館通坂の上）　電話二一〇二番

◎安東總督の談

▲臺灣は好景氣　今回の東上十日安東臺灣總督は東上の途語つて曰く今回の東上は一般政務の打合せの爲めにして東京滯在約一個月の豫定にして臨時會召集の前には下村長官の上京を見るに至るは勿論なり最近臺灣に於ては格別取立てゝ云ふ程の問題はなきも砂糖其他農作物の前年非常に豊作なりし結果農民の生活狀態甚だ良好にて殊に砂糖の上作は各製糖工場の原料豊富となり精製に忙はしく頗る活氣を呈しつゝあり本年も氣候甚だ適順なれば前年に劣らざる豊作なる可く豫想せらる而も臺灣糖の品質は必らずしも最良なるものにあらず瓜哇糖に比し遙に劣れるものなれば今後尚ほ其改良に向つて十分努力するの必要ある可し

▲臺灣銅鑛有望　尚東部海岸なる宜蘭花蓮方面に於ける銅鑛に就ては久原藤田三井三菱等の手にて調査の歩を進め居たるが其結果同方面各所に鑛脈を發見し其の含有量も五乃至二十五パーセントに上る由なり鑛區の面積其他はまだ十分の調査を遂げざるが如きも從來内地に於ける銅鑛が含有量三パーセント以上なれば優に利益を擧げ得つゝありと云ふ去れば同鑛の發見に依り臺灣は新たに一富源を加へたる事と云ふを得べし

▲生蕃觀光廢止　更に先年來時々行はれ來りたる生蕃の内地觀光は無論相當効果を收めつゝありたるも其後種々研究調査の結果内地文明進歩に比し彼我程度の非常なる懸隔あるは徒らに彼等の目を驚かすに止り其向上心を刺戟するの資料として適切ならざるを以て今後當分中止するの方針なり（大阪）

□藻屑

星賓子を訪うて往つて

耕伯と見て君在らぬ暮春哉　青眼子

藻屑焚いて烟に立つ春の人　雨意

笠山より出京せられたる雨意、青眼子兩氏に初めて會し俳談數刻、恰も舊知の如し

佳句を知己二人まで得て春の夕　耕伯

新刊紹介

▲國民科學（四月號）　常識と科學の改題せるものにして科學常識の普及科學應用事業の說明者たらんとせるもの（十八錢東京牛込市谷左内町三〇役美社）

▲食物の養生（四月號）　化學的食養を講論『故石塚左玄』遺作食物論『福井博士』美人製造法『小塚右玄』朝鮮土產物品『加藤生』等（十三錢東京牛込市谷×町五一石塚食養所）

▲柔道（四月號）　柔の形『嘉納治五郎』極の形詳解『山下、永岡七段、村上五段』及び柔道界其他時事問題に關する論を收む（二十錢東京小石川大塚坂下町一四柔道會本部）

▲新公論（四月號）　現下の政局に關する後藤男、元田肇、若宮卯之助等名士の說正宗白鳥川浪道三の小說其他如例（二十八錢東京横加賀町一八其社）

▲ニコ／＼（四月號）　全國孝人書畫展覽會の記、東京おぼへ帳に於ける十數名士の觀察はニコ／＼主義の本領を發揮せり（二十錢東京麴町有樂町三の三其倶樂部）

◎早稻田中學商業講義如何　最新式通信教育を網羅せる早稻田大學經營の兩講義錄は學年開始に當り總長大隈侯より獎學メダル贈與卒業者の大學無試驗入學、學資給與其他の大特典あるのみならず講義内容の完備充實を以て一般の好評を博せる結果年々入學生増加し本年度の如き既に五萬を超えたりと

◎模範中學講義錄發刊　東京神田三崎町三丁目大日本模範中學會より毎月二回發行する同講義錄は慶應義塾普通部々長川合貞一氏理學博士岡村謹三郎氏學監の下に東京市内に於ける模範的官公私立中學校中の優良なる專門教授三十餘名の講述に成り講義は各科共平易親切を旨とし插圖の如きも諸般の執筆に係み等内容すべて新様式に則り他會の一箇年を要する科目を一年三箇月にて立派に卒業し得られ通信教授としては全く理想化せる完璧のものなり尚新學期開始記念として此際入會者に種々大特典の外奬學資金を贈呈する由入會希望者は同會へハガキで見本つき會則を要求せられよ

◎三銀の旅行用茶器　新橋際美術陶器舗三銀本店は市内有數の老舗として殊に其製品は意匠巧妙品質精良を以て有名なるが其四季に因める陶器の如き美術品としても他に類を見ず常に新案を凝らし斯界を賑はし居れる店主は此品は急須、茶碗、大小茶入、茶巾等一揃揃しの所に入れたるものにて茶好きの風流人が旅行中の茶器として携帶するには手輕重寶なるべく或は婦方へのお土産物としても頗る適當の品なり因に同店の茶道具は東京市の一名物として數へらる、ゆる人は行かば便宜なら進んで知るべし

債權者の法律顧問

法理詳說　判例參照　實例引用

磯部法學博士閱　森辯護士著（五年間苦心の大著）

本書一冊あらば敏腕なる辯護士公證人代書人を雇ひ置くに勝る。約千頁七十餘萬字は一字一句皆活きて働らく實用本位の活文字。

著者多年の經驗と十年の歲月を費し金錢貸借抵當賣買讓渡其他一般の債權物件上の諸問題及實際上の難事件に際會せる場合の明晰なる解決案、債權安全策、權利實行法等の奥の秘を詳說し迹するに法理を詳說し判例を參照し事實を證し一讀直に會得し應用し得る秘策を公開す。座右に備へ置かば妙案奇策湧くが如く悉く活用し得。

書中の白眉！　本書の内容は、動產不動產株券證券及諸權利の賣買貸借抵當に關する有効なる契約法及損害防止法。貸金を迅速に取る妙法。手形小切手遣ひ方と取立妙法。保證人連帶人より取立る法。債主死亡と債權の處分法。保險金生命火災海上保險金の受取法。不拂の債權を生かす法等其他法律と實際とを參照し一々說示せられたり

特價壹圓八拾錢　送料十二錢　定價金二圓三十錢　大冊布製函入美本一千頁　部限壹千部　殘部僅少直に申込まれよ

賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

品質第一　誠實第一　賣行第一

キッコーリウ　最上醬油

醸造元仁川港　日本醬油株式會社

京城出張所　京城大平通二丁目電話二四五番

淋病新藥　リコール

醫藥學博士學士臨床實驗書無料贈呈

百入壹圓六拾錢　五〇入九拾錢　三〇入五拾五錢

東京日本橋川瀬石町十一　ツヨール商會

關西代理店　大阪道修町　田邊五兵衛

タイヨー萬年毛筆

曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交渉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし

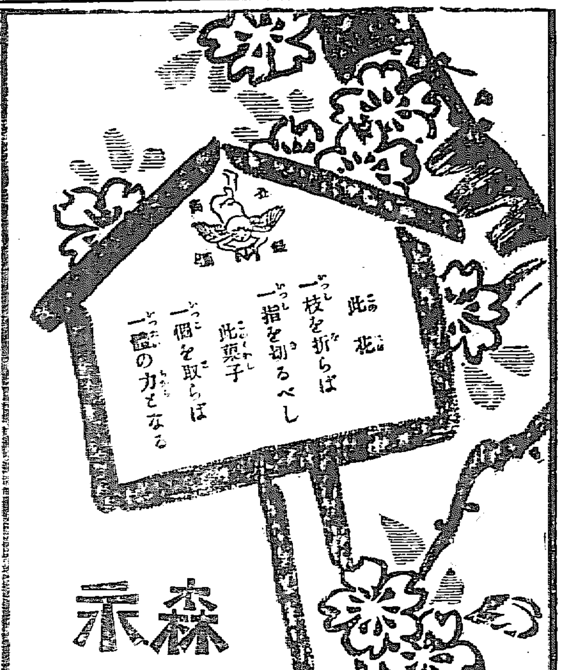
●發賣所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　合資會社京城日報社代理部

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液

小瓶二十錢　徳用四十錢

今東京で大評判の元素液色素は顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す　送料内地八錢　清鮮卅錢　臺樺卅錢

東京神田和泉橋際　松本藥店



六年春代價表進呈

山林用苗　果樹苗木　野菜種子　草花種子　花卉盆栽　農具肥料

平壤　内田百花園

金泉醴泉間自動車時間

金泉醴泉間自動車支部

大邱浦項間自動車時間

大塚農場自動車所　大邱出張部　電話一一七番

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行　伏見丸　日午後入港　日正午出帆

阿波共同汽船株式會社　仁川代理店　野口商會　本町四丁目（電話一七三番）　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行　○○和歌浦丸　四月十五日後五時出帆　○立神丸　四月廿六日後五時出帆

元山、清津、浦鹽行　○○和歌浦丸　四月廿五日後十時出帆　○立神丸　四月十四日後四時出帆

元山、西湖、新浦、城津、清津行　○第三琴平丸　四月　日後六時出帆

門司、宇品、神戸、大阪行　○第三琴平丸　四月　日後六時出帆

佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　○天與丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆

釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

大阪商船仁川出帆

尼崎汽船

日本郵船

朝鮮郵船